

武蔵野市
「地域コミュニティについての市民アンケート調査」
報告書

令和元年 10 月

目 次

1. 実施概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
(3) 調査結果をみる上での注意事項	2
2. 調査結果のまとめ	3
(1) 地域との日々の関わりについて	3
(2) 地域コミュニティ活動について	3
(3) コミュニティセンターとの関わりについて	4
3. 調査結果	5
(1) 回答者属性	5
① 性別	5
② 年齢	5
③ 職業	5
④ 世帯構成	6
⑤ 居住地区	6
⑥ 居住年数	7
⑦ 普段の情報収集の方法	7
(2) 地域との関わり	8
① 近隣住民との近所づきあいの程度	8
② 「地域」と聞いてイメージする範囲	9
③ 「地域」に対して愛着を感じているか	9
④ 「地域」とのかかわりについての今後の意向	10
⑤ 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか	12
(3) 地域コミュニティ活動について	13
① 地域コミュニティ活動への参加状況	13
② 現在参加している「地域コミュニティ活動の団体」	14
③ 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」	15
④ 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題	16
⑤ 現在、地域コミュニティ活動に参加していない層の地域コミュニティ活動への関心	17
⑥ 現在、地域コミュニティ活動に参加していない層が地域コミュニティ活動に関心がある理由	18
⑦ 地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なもの	19
(4) コミュニティセンターについて	21

① コミュニティセンターの認知度	21
② コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度	22
③ 利用しているコミュニティセンター	24
④ コミュニティセンターの運営面に携わった経験	26
⑤ コミュニティセンターを利用していない理由	26
⑥ コミュニティセンターに求める機能・サービス	27
⑦ コミュニティセンターに求める空間や設備	29
⑧ コミュニティセンターの企画・運営への関心意向	30
(5) 自由回答	32

1. 実施概要

(1) 調査目的

第四期武蔵野市コミュニティ評価委員会の実施にあたって、地域コミュニティや市民自治に関する意識や活動の現状等を把握し、今後の地域コミュニティや市民自治のあり方について検討する際の基礎資料とすることを目的として、無作為に抽出した武蔵野市民 2500 名に対し、「地域コミュニティについてのアンケート調査」を実施した。アンケート調査の実施概要は以下に示すとおりである

(2) 調査概要

【調査対象】

- ・ 住民基本台帳から無作為抽出により満 18 歳以上の男女 2500 人を抽出

【調査内容】

(1)回答者属性

- ・ 性別、年齢、職業、世帯構成、居住地区、居住年数、普段の情報収集の方法

(2)地域との関わり

- ・ 近所住民との近所づきあいの程度、「地域」のイメージ、地域に対する愛着の有無、地域との関わりについての今後の意向、「地域」をよりよくするためにあると良いつながり

(3)地域コミュニティ活動について

- ・ 地域コミュニティへの参加状況、現在参加している地域コミュニティ活動の団体、参加したきっかけ、参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題、（現在、地域コミュニティ活動に参加していない層の）地域コミュニティ活動への関心の有無及びその理由、地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なこと

(4)コミュニティセンターについて

- ・ コミュニティセンターの認知度、コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度、利用しているコミュニティセンター、コミュニティセンターの運営面に携わった経験、コミュニティセンターを利用していない理由、コミュニティセンターに求める機能・サービス、コミュニティセンターに求める空間や設備、コミュニティセンターの企画・運営への関心意向

【調査方法】

- ・ 郵送配布・郵送回収

【調査時期】

- ・ 2019 年 7 月 8 日（月）～2019 年 8 月 2 日（金）

【回収状況】

- ・ 717 票／2500 票 （回収率：28.7%）

(3) 調査結果をみる上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数を指す。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・本文中の%の小計は、各項目の値を四捨五入した上で足し合わせている。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・過年度調査と比較する際に、±10%の差異があった場合に言及している。

2. 調査結果のまとめ

(1) 地域との日々の関わりについて

- 近隣住民との付き合いの程度としては、「会えば挨拶をする」と回答する割合が過半数を超える。一方で「顔を知っているが、会ってもあいさつをすることは滅多にない」「顔も知らない」と回答する割合は合わせると 1 割程度である。年齢別にみると、特に「20 代」「30 代」など若年層で「顔も知らない」と回答する割合が全体と比較して高い傾向にあり、若年層と地域との関係の希薄化がうかがえる。
- 地域に対して愛着があると回答する割合は 7 割を超える（「地域に対して愛着を感じる」「どちらかといえば地域に対して愛着を感じる」の合計値）。
- また、地域と今後関わりたいと回答する割合は 5 割程度に上る（「深くかかわりたい」「どちらかといえば関わりたい」と回答する割合の合計値）。年齢別にみると、地域に関わりたいと回答する割合（「深く関わりたい」「どちらかといえば深く関わりたい」と回答する割合の合計値）は、70 代以上に加えて、特に 30 代でその割合が過半数を超えており、全体と比較しても高くなっている。
- より地域をよくするためにどのような「つながり」があるとよいかについては、「災害時などいざというときに助け合える」「日常的に挨拶や会話ができる」と回答する割合が高い。

(2) 地域コミュニティ活動について

- 地域コミュニティ活動に参加していると回答する割合は 3 割程度であり、過年度調査（約 15%）より増加傾向にある。一方で、若年層の参加割合は全体の傾向と比較して低い。
- 現在実施している地域コミュニティ活動の内容としては、「趣味・娯楽、自己啓発のサークル・グループ」「父母会・PTA」「マンション管理組合」などが上位を占める。一方で、「コミュニティ協議会」は 1 割未満にとどまる。
- 参加している地域コミュニティ活動が直面している課題をみると、メンバーの高齢化や固定化などを挙げる割合が上位を占めている。
- 現在地域コミュニティ活動に参加していない層のうち、今後参加してみたいと回答する割合は 4 割弱であった（「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答）。年齢別にみると、特に 30 代・40 代でその割合が 4 割を超えている。
- 地域コミュニティ活動に関心がある理由としては、「地域とのかかわり・つながりがほしい」と回答する割合が過半数を超える。
- 今後地域コミュニティ活動への参加を促進にあたって必要なこととしては、「軽度の負担で参加できる」「参加しやすい曜日や時間帯への配慮がある」といった条件に加えて、「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気がある」「活動の内容について情報提供がある」「地域のなかでどのような団体があるか情報提供がある」と回答する割合が上位を占めている。

(3) コミュニティセンターとの関わりについて

- コミュニティセンターの認知度について、認知していると回答する割合（「よく知っており、最寄りの」コミュニティセンターもわかる」「コミュニティセンターがあることは知っているが、最寄りの」コミュニティセンターはわからない」と回答する割合の合計値）は 6 割強に上る。また、年齢別にみると、20 代でその割合は 46.4%であり全体と比較して低い一方で、30 代で約 7 割、40 代で 6 割程度の人がコミュニティセンターを認知している。さらに、地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」と回答する層で「知っている」と回答する割合は 8 割を超える（16%は「知らない」と回答している）。また、「どちらかといえば関心がある」と回答する層の 3 割がコミュニティセンターを知らないと回答している。
- コミュニティセンターが地域住民によって運営されていると認知している割合は 6 割弱程度に上る。また、コミュニティセンターの認知度別にみると、「よく知っており、最寄りの」コミュニティセンターもわかる」と回答する層は、8 割近くが地域住民によって運営されていることを認知している（2 割は認知していない）。
- コミュニティセンターを利用していると回答する割合は、過半数を超える。また、年齢別でみると、20 代で「利用している」と回答する割合は全体と比較して低い傾向にある一方で、30 代・40 代では過半数に上る。さらに、地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」と回答する層のうち、地域との関わり意向があるにも関わらず 3 割程度が利用していない。
- コミュニティセンターの運営面にも関わったことがあると回答する割合は 1 割に満たない。
- コミュニティセンターに求める機能・サービスとしては、「気軽に集まれる場所」といった拠点機能や、「同じ関心を持つ人との幅広いつながりができる」「地域の情報が得られる」といった地域とのつながり創出に関する機能に対してニーズが高い。
- また、コミュニティセンターに求める空間や設備としては、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある」「大勢の人が集まることができる場所がある」と回答する割合が高い。
- コミュニティセンターの企画・運営への関心がある層（「運営委員・協力員としてコミュニティセンターの企画・運営に携わりたい」「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい」「その他」のいずれかを回答した割合の合計値）は、26.4%に上る。地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」と回答する層で「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい」と回答する割合が 34.8%で全体と比較して高い傾向にあり、また「運営委員・協力員としてコミュニティセンターの企画・運営に携わりたい」と回答する割合も 11.6%に上る。

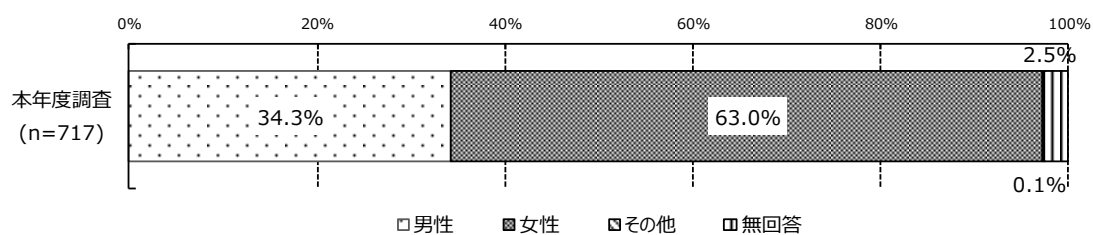
3. 調査結果

(1) 回答者属性

①性別

性別では、「女性」の割合が63.0%、次いで「男性」(34.3%)、「その他」(2.5%)となっている。

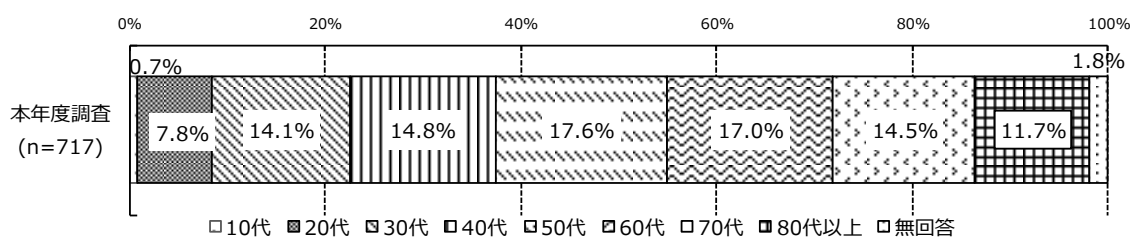
図表 1 性別 (単一回答)



②年齢

年齢別では、「50代」の割合が最も高く17.6%となっている。次いで、「60代」(17.0%)、「40代」(14.8%)となっている。

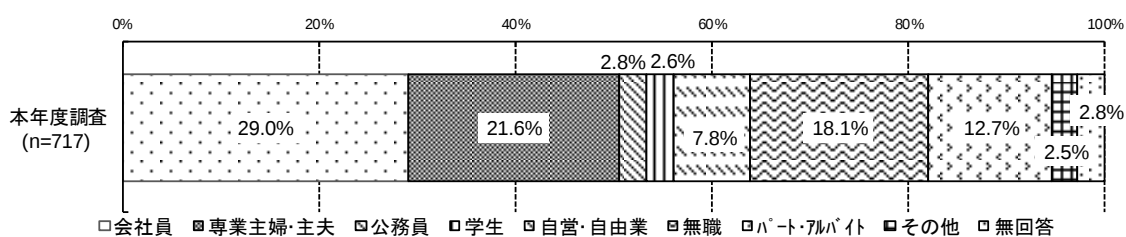
図表 2 年齢 (単一回答)



③職業

職業別では、「会社員」の割合が最も高く29.0%となっている。次いで、「専業主婦・主夫」(21.6%)、「無職」(18.1%)となっている。

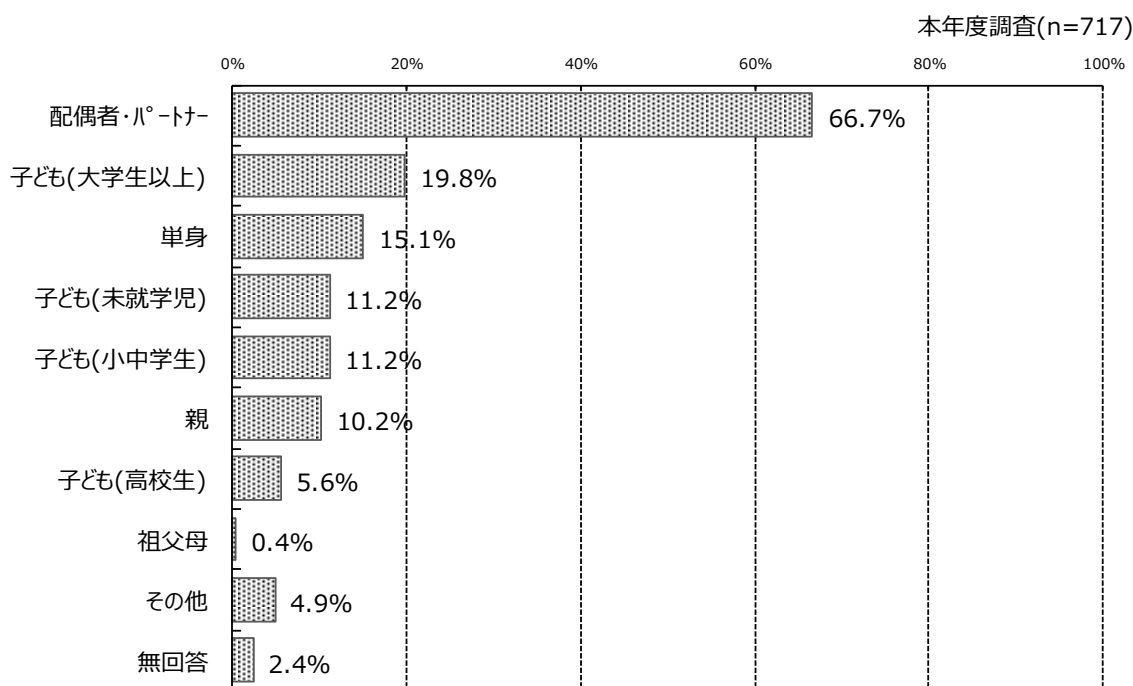
図表 3 職業 (単一回答)



④世帯構成

世帯構成別では、「配偶者・パートナー」の割合が最も高く 66.7%となっている。次いで、「子ども（大学生以上）」（19.8%）、「単身」（15.1%）となっている。

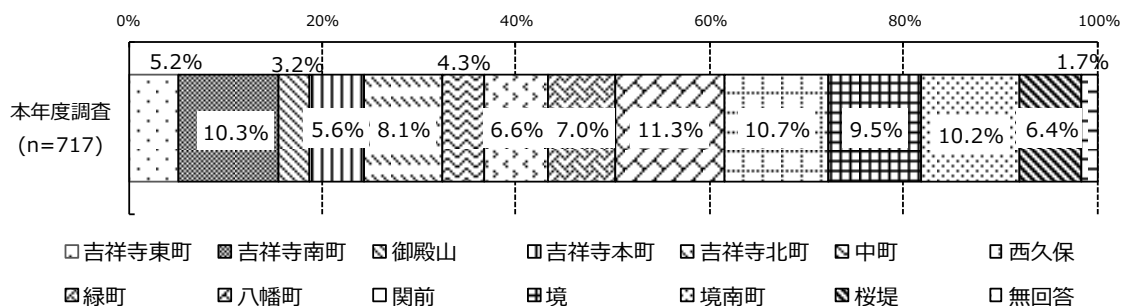
図表 4 世帯構成（複数回答）



⑤居住地区

居住区別では、各地区ともほぼ同程度の割合となっているが、「御殿山」、「中町」の割合がやや低くなっている。

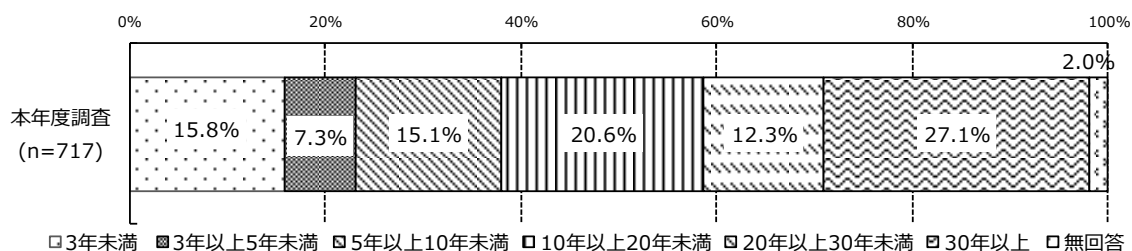
図表 5 居住地区（単一回答）



⑥居住年数

居住年数別では、「30 年以上」の割合が最も高く 27.1%となっている。次いで、「10 年以上 20 年未満」(20.6%)、「3 年未満」(15.8%) となっている。

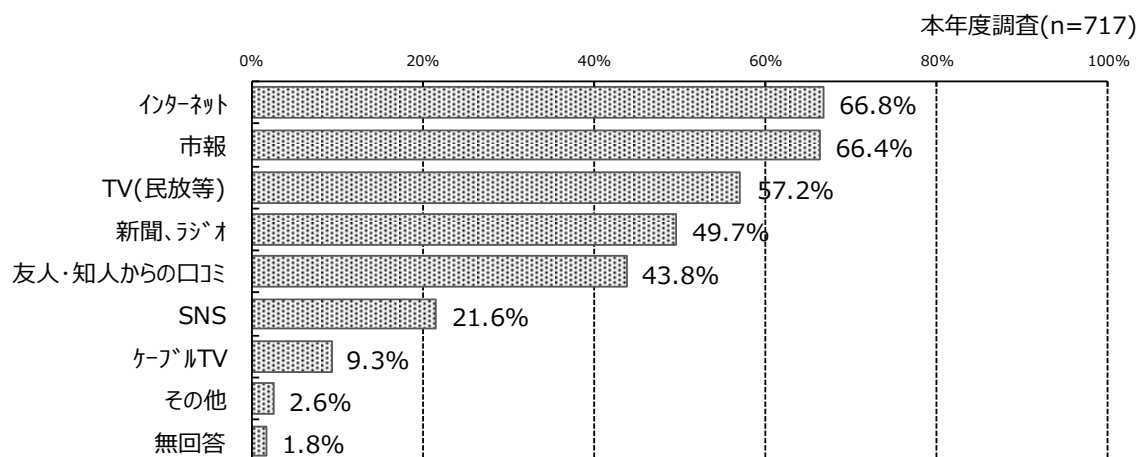
図表 6 居住年数（単一回答）



⑦普段の情報収集の方法

普段の情報収集方法をみると、「インターネット」の割合が最も高く 66.8%となっている。次いで「市報」(66.4%)、「TV（民放等）」(57.2%) となっている。

図表 7 普段の情報収集の方法（複数回答）



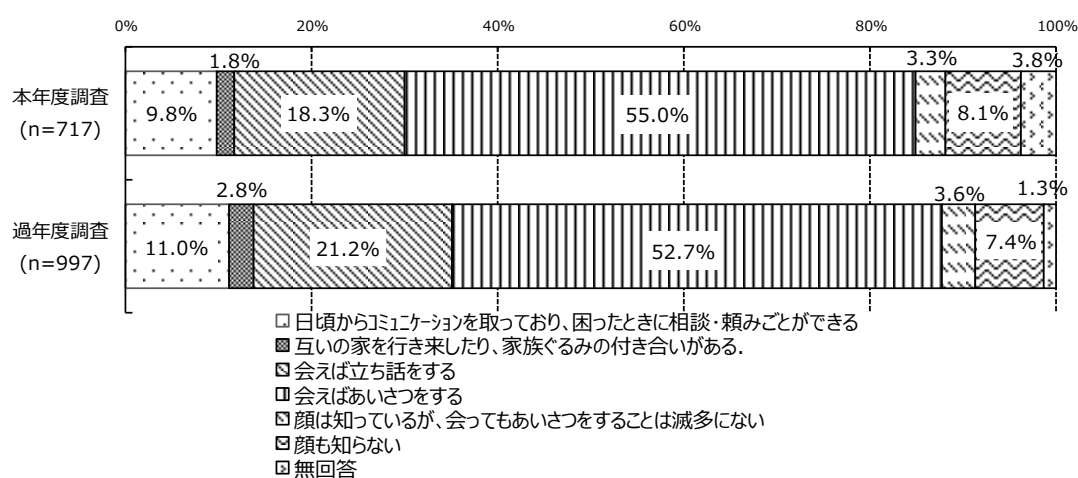
(2) 地域との関わり

①近隣住民との近所づきあいの程度

本年度調査において、近隣住民との近所づきあいの程度をみると、「会えばあいさつをする」の割合が最も高く 55.0%となっている。次いで、「会えば立ち話をする」(18.3%)、「日頃からコミュニケーションを取っており、困ったときに相談・頼みごとができる」(9.8%)となっている。なお、過年度調査と比較すると、特段の傾向の差異はみられなかった。

年齢別にみると、特に「20代」「30代」など若年層で「顔も知らない」と回答する割合が全体と比較して高い傾向にあり、若年層と地域との関係の希薄化がうかがえる。

図表 8 近隣住民との近所づきあいの程度（単一回答）



図表 9 【年齢別】近隣住民との近所づきあいの程度（単一回答）

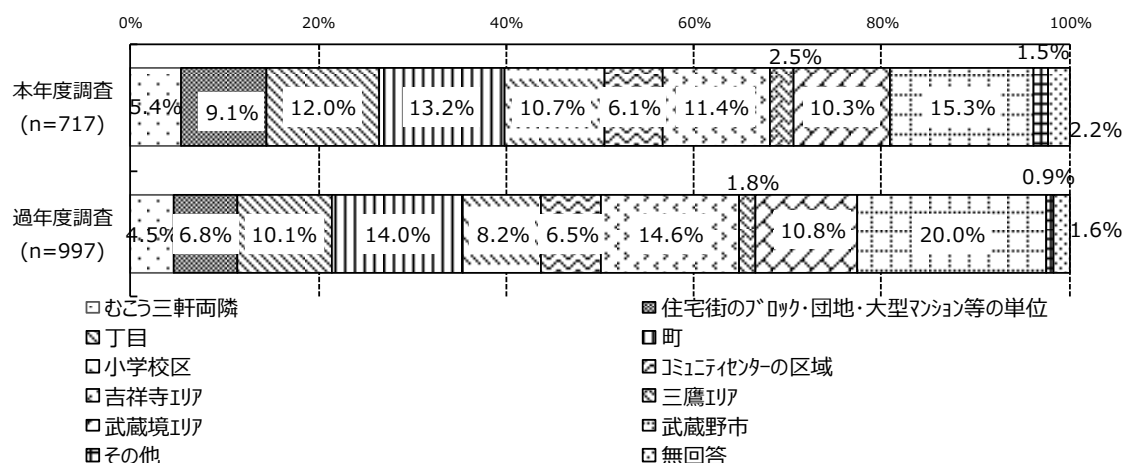
上段：n 数 下段：%	合計	日頃からコミュニケーションを取っており、困ったときに相談・頼みごとができる	互いの家を行き来したり、家族ぐるみの付き合いがある	会えば立ち話をする	会えばあいさつをする	顔は知っているが、会ってもあいさつをすることは減多にない	顔も知らない	無回答
合計	717	70	13	131	394	24	58	27
	100.0%	9.8%	1.8%	18.3%	55.0%	3.3%	8.1%	3.8%
10 代	5	0	0	1	4	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 代	56	0	0	4	34	4	14	0
	100.0%	0.0%	0.0%	7.1%	60.7%	7.1%	25.0%	0.0%
30 代	101	7	2	10	58	2	20	2
	100.0%	6.9%	2.0%	9.9%	57.4%	2.0%	19.8%	2.0%
40 代	106	7	4	16	62	3	13	1
	100.0%	6.6%	3.8%	15.1%	58.5%	2.8%	12.3%	0.9%
50 代	126	12	3	20	82	4	4	1
	100.0%	9.5%	2.4%	15.9%	65.1%	3.2%	3.2%	0.8%
60 代	122	8	0	26	76	8	3	1
	100.0%	6.6%	0.0%	21.3%	62.3%	6.6%	2.5%	0.8%
70 代	104	23	2	30	36	0	1	12
	100.0%	22.1%	1.9%	28.8%	34.6%	0.0%	1.0%	11.5%
80 代以上	84	12	2	20	35	3	2	10
	100.0%	14.3%	2.4%	23.8%	41.7%	3.6%	2.4%	11.9%

②「地域」と聞いてイメージする範囲

本年度調査において、地域と聞いてイメージする範囲をみると、「武蔵野市」の割合が最も高く 15.3%となっている。次いで、「町」（13.2%）「丁目」（12.0%）となっている。

なお、過年度調査と比較すると、特段の傾向の差異はみられなかった。

図表 10 「地域」と聞いてイメージする範囲（単一回答）

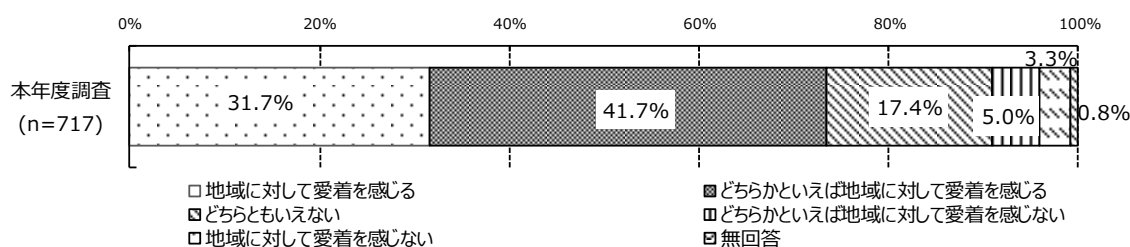


③「地域」に対して愛着を感じているか

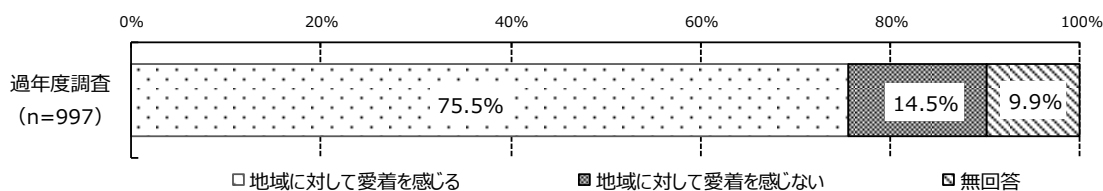
「地域に対して愛着を感じているか」をみると、「どちらかといえば地域に対して愛着を感じる」と回答する割合が最も高く 41.7%、「地域に対して愛着を感じる」（31.7%）となっており愛着を感じる人の割合が7割を超えている。次いで、「どちらともいえない」（17.4%）となっている。

年齢別にみると、「20代」で愛着を感じると回答する割合は5割程度であり、全体と比較すると低い傾向にある。

図表 11 「地域」に対して愛着を感じているか（単一回答）



図表 12 【参考】「地域」に対して愛着を感じているか（過年度調査・単一回答）



図表 13 【年齢別】「地域」に対して愛着を感じているか（単一回答）

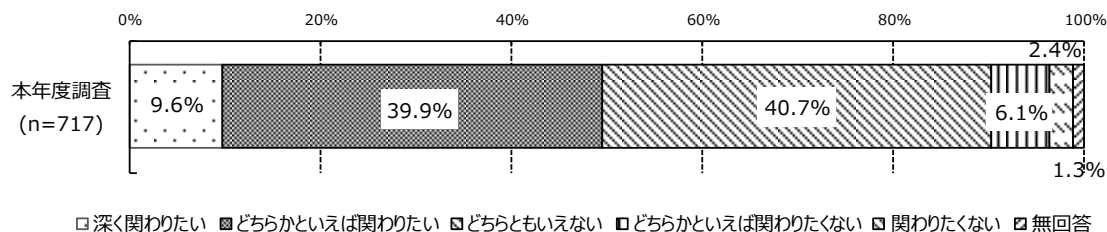
上段：n 数 下段：%	合計	地域に対して愛着を感じる	どちらかといえば地域に対して愛着を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば地域に対して愛着を感じない	地域に対して愛着を感じない	無回答
合計	717	227	299	125	36	24	6
	100.0%	31.7%	41.7%	17.4%	5.0%	3.3%	0.8%
10 代	5	1	1	1	2	0	0
	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20 代	56	11	19	13	6	7	0
	100.0%	19.6%	33.9%	23.2%	10.7%	12.5%	0.0%
30 代	101	21	49	16	10	5	0
	100.0%	20.8%	48.5%	15.8%	9.9%	5.0%	0.0%
40 代	106	26	50	19	7	3	1
	100.0%	24.5%	47.2%	17.9%	6.6%	2.8%	0.9%
50 代	126	37	52	28	4	4	1
	100.0%	29.4%	41.3%	22.2%	3.2%	3.2%	0.8%
60 代	122	39	49	26	4	4	0
	100.0%	32.0%	40.2%	21.3%	3.3%	3.3%	0.0%
70 代	104	51	35	13	2	1	2
	100.0%	49.0%	33.7%	12.5%	1.9%	1.0%	1.9%
80 代以上	84	38	36	7	1	0	2
	100.0%	45.2%	42.9%	8.3%	1.2%	0.0%	2.4%

④「地域」とのかかわりについての今後の意向

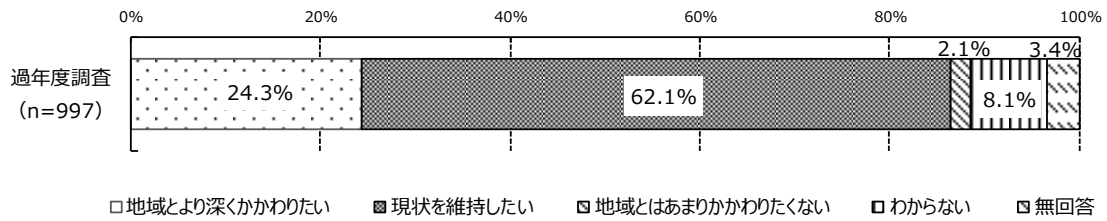
本年度調査における「地域とのかかわりについて今後の意向」をみると、「どちらともいえない」の割合が最も高く 40.7%となっている。次いで、「どちらかといえば関わりたい」(39.9%)、「深く関わりたい」(9.6%) となっている。

年齢別にみると、地域に関わりたいと回答する割合（「深く関わりたい」「どちらかといえば深く関わりたい」と回答する割合の合計値）は 70 代以上に加えて、特に 30 代でその割合が過半数を超えており、全体と比較しても高くなっている。

図表 14 「地域」とのかかわりについての「今後の意向」（本年度調査・単一回答）



図表 15 【参考】「地域」とのかかわりについての「今後の意向」（過年度調査・単一回答）



図表 16 【年齢別】「地域」とのかかわりについての「今後の意向」（本年度調査・単一回答）

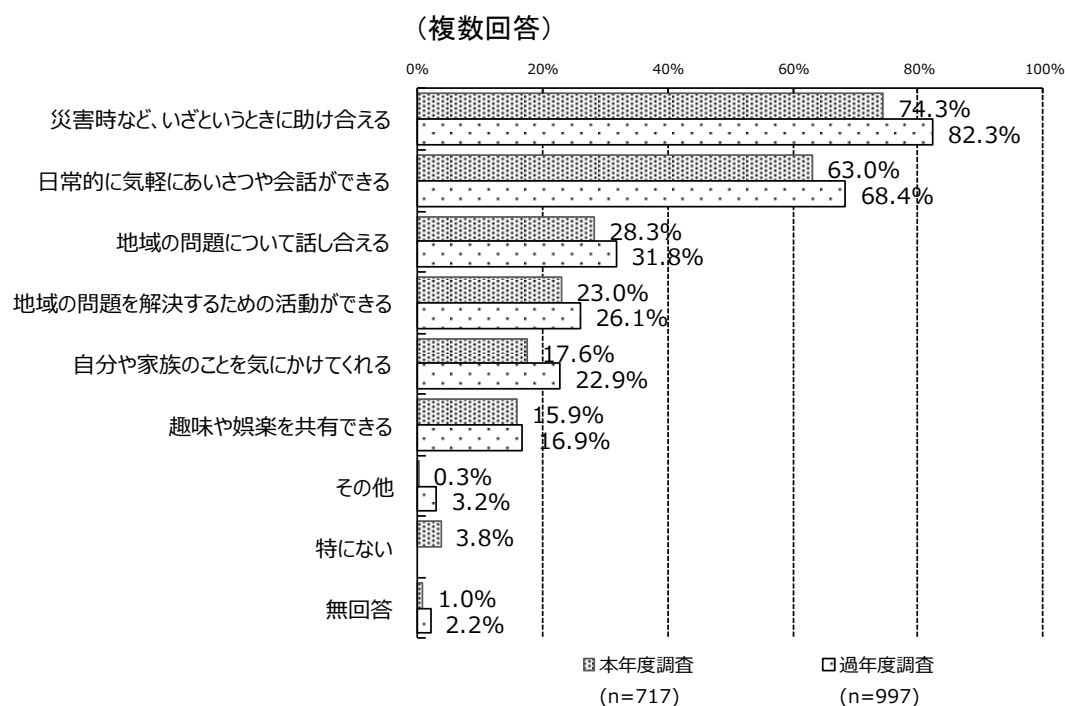
上段：n 数 下段：%	合計	深く関わり たい	どちらかといえ ば関わりたい	どちらとも いえない	どちらかといえ ば関わりたく ない	関わりたく ない	無回答
合計	717	69	286	292	44	17	9
	100.0%	9.6%	39.9%	40.7%	6.1%	2.4%	1.3%
10 代	5	1	1	1	1	1	0
	100.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20 代	56	3	20	21	8	4	0
	100.0%	5.4%	35.7%	37.5%	14.3%	7.1%	0.0%
30 代	101	11	45	41	2	2	0
	100.0%	10.9%	44.6%	40.6%	2.0%	2.0%	0.0%
40 代	106	9	39	43	12	2	1
	100.0%	8.5%	36.8%	40.6%	11.3%	1.9%	0.9%
50 代	126	11	48	58	7	1	1
	100.0%	8.7%	38.1%	46.0%	5.6%	0.8%	0.8%
60 代	122	9	49	52	10	2	0
	100.0%	7.4%	40.2%	42.6%	8.2%	1.6%	0.0%
70 代	104	14	39	42	3	2	4
	100.0%	13.5%	37.5%	40.4%	2.9%	1.9%	3.8%
80 代以上	84	11	36	30	1	3	3
	100.0%	13.1%	42.9%	35.7%	1.2%	3.6%	3.6%

⑤「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか

本年度調査における「「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか」をみると、「災害時など、いざというときに助け合える」の割合が最も高く74.3%となっている。次いで、「日常的に気軽にあいさつや会話ができる」(63.0%)、「地域の問題について話し合える」(28.3%)となっている。

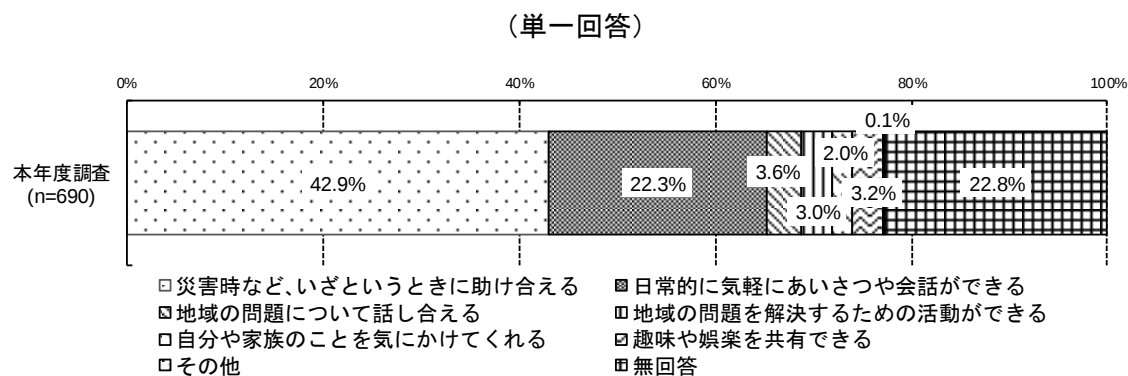
なお、過年度調査と比較すると、特段の傾向の差異はみられなかった。

図表 17 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか



「地域」をより良くするために必要なつながりのうち「特にあてはまるもの」としては、「災害時など、いざというときに助け合える」とする割合が最も高く42.9%となっている。次いで「日常的に気軽にあいさつや会話ができる」(22.3%)となっている。

図表 18 「地域」をより良くするために、どのようなつながりがあると良いか【特に】



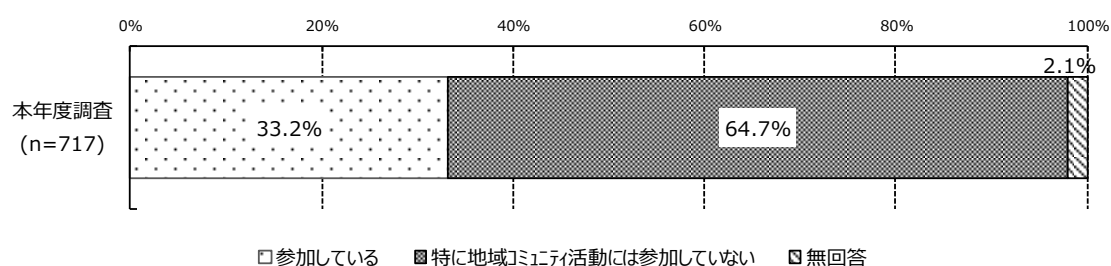
(3) 地域コミュニティ活動について

①地域コミュニティ活動への参加状況

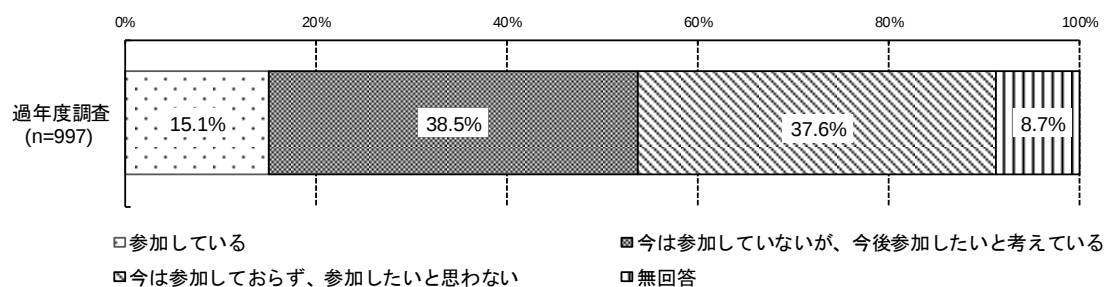
本年度調査における地域コミュニティ活動への参加状況をみると、「特に地域コミュニティ活動には参加していない」の割合が64.7%となっており、「参加している」(33.2%)とした回答者の約2倍となっている。なお、過年度調査と比較すると、「参加している」(33.2%)と回答する割合が増加している。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「参加している」と回答する割合は高くなる。

図表 19 地域コミュニティ活動への参加状況（本年度調査・単一回答）



図表 20 地域コミュニティ活動への参加状況（過年度調査・単一回答）



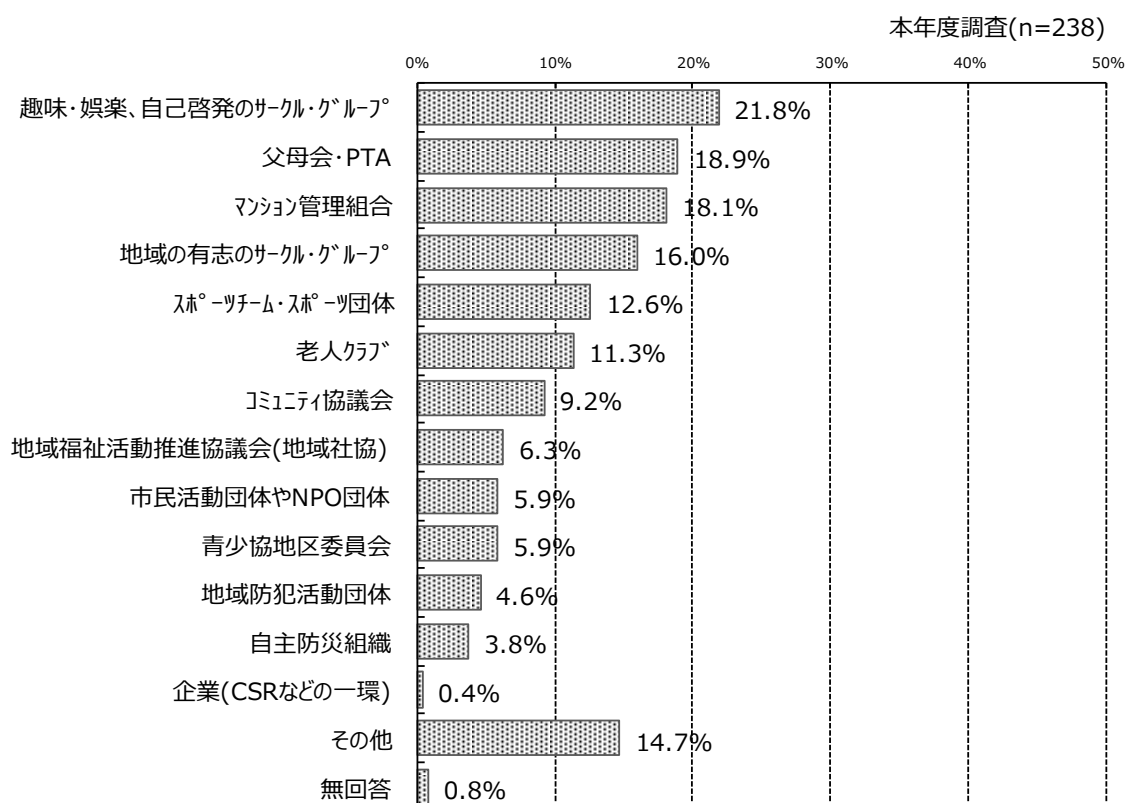
図表 21 【年齢別】地域コミュニティ活動への参加状況（本年度調査・単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	参加している	特に地域コミュニティ活動には参加していない	無回答
合計	717	238	464	15
	100.0%	33.2%	64.7%	2.1%
10 代	5	2	3	0
	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%
20 代	56	4	52	0
	100.0%	7.1%	92.9%	0.0%
30 代	101	27	72	2
	100.0%	26.7%	71.3%	2.0%
40 代	106	34	71	1
	100.0%	32.1%	67.0%	0.9%
50 代	126	39	86	1
	100.0%	31.0%	68.3%	0.8%
60 代	122	41	80	1
	100.0%	33.6%	65.6%	0.8%
70 代	104	42	55	7
	100.0%	40.4%	52.9%	6.7%
80 代以上	84	40	41	3
	100.0%	47.6%	48.8%	3.6%

②現在参加している「地域コミュニティ活動の団体」

「現在参加している地域コミュニティ活動の団体」をみると、「趣味・娯楽、自己啓発のサークル・グループ」の割合が最も高く 21.8%となっている。次いで、「父母会・PTA」(18.9%)、「マンション管理組合」(18.1%)となっている。

図表 22 現在参加している「地域コミュニティ活動の団体」(複数回答)

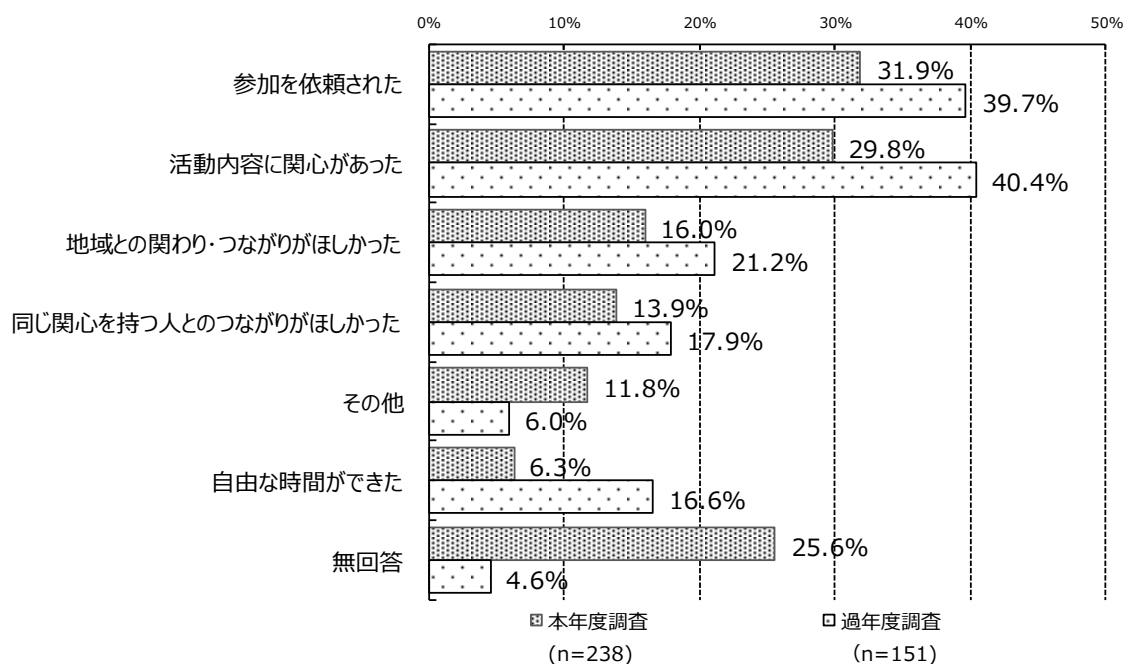


③地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」

本年度調査における「地域コミュニティ活動へ参加したきっかけ」をみると、「参加を依頼された」の割合が最も高く 31.9%となっており、次いで、「活動内容に関心があった」(29.8%)、「地域との関わり・つながりがほしかった」(16.0%) となっている。

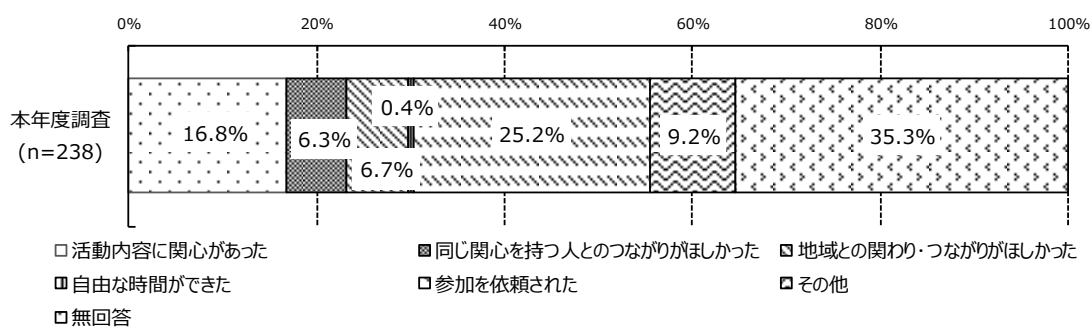
なお、過年度調査と比較すると、「活動内容に関心があった」(29.8%)、「自由な時間ができた」(6.3%) と回答する割合が低い傾向にある。

図表 23 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」(複数回答)



「地域活動に参加したきっかけ」について特にあてはまるものをみると、「参加を依頼された」の割合が最も高く 25.2%となっている。次いで「活動内容に関心があった」(16.8%)、「その他」(9.2%) となっている。

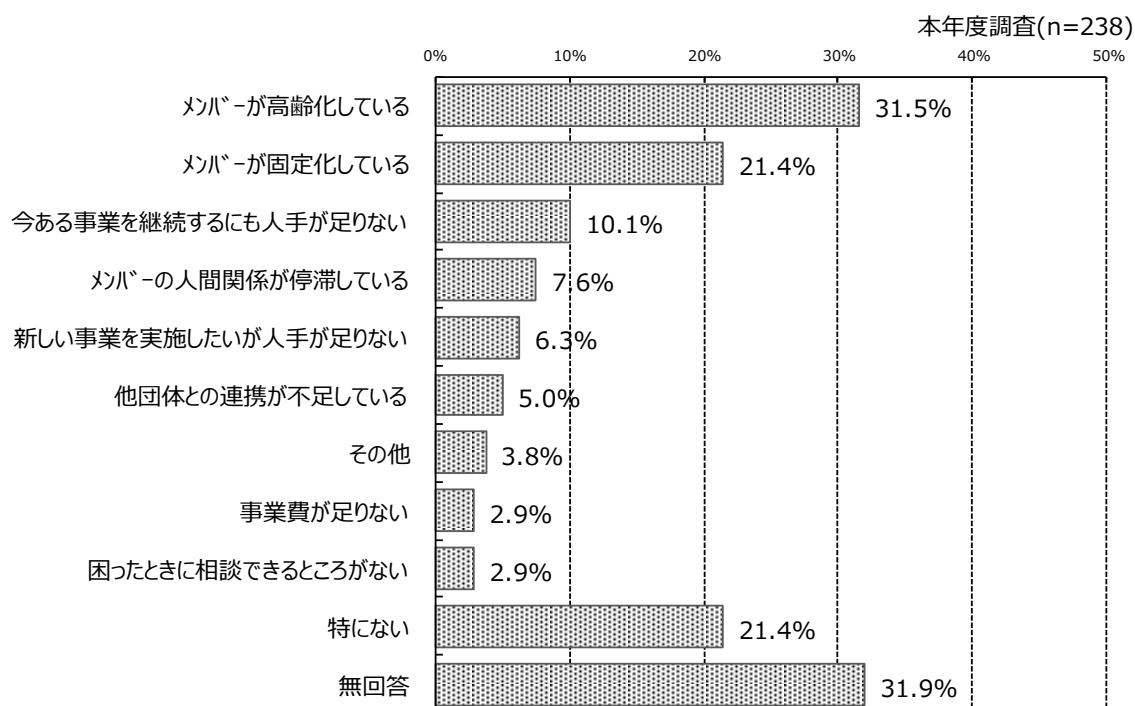
図表 24 地域コミュニティ活動に参加した「きっかけ」【特に】(単一回答)



④参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題

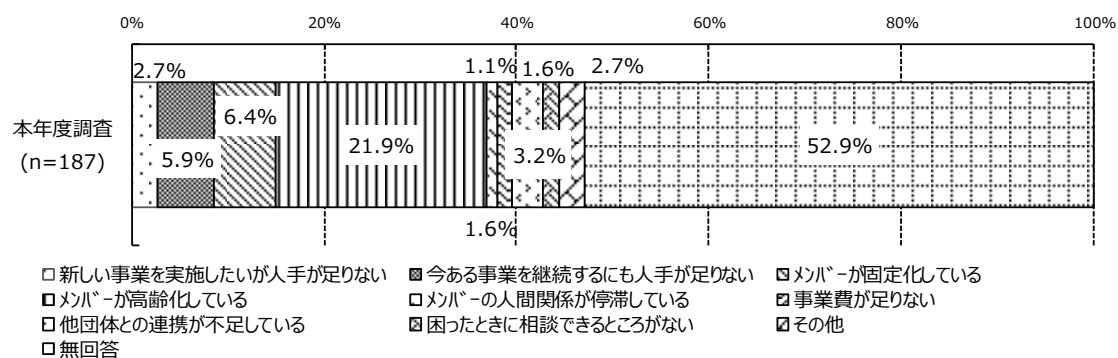
「参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題」をみると、「メンバーが高齢化している」の割合が最も高く 31.5%となっている。次いで、「メンバーが固定化している」(21.4%)、「今ある事業を継続するにも人手が足りない」(10.1%) となっている。

図表 25 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題（複数回答）



地域コミュニティ活動が抱えている課題のうち「特にあてはまるもの」としては、「メンバーが高齢化している」とする割合が最も高く 21.9%となっている。次いで「メンバーが固定化している」(6.4%)、「今ある事業を継続するにも人手が足りない」(5.9%) となっている。

図表 26 参加している地域コミュニティ活動が抱えている課題【特に】（単一回答）

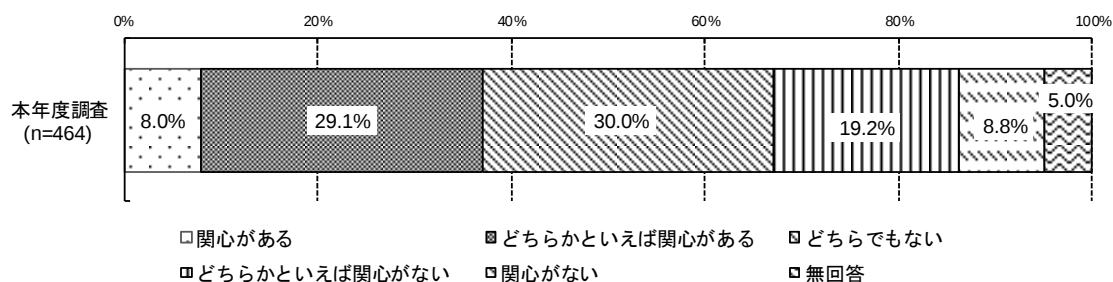


⑤現在、地域コミュニティ活動に参加していない層の地域コミュニティ活動への関心

現在、地域コミュニティ活動へ参加していない回答者の「地域コミュニティ活動への関心」をみると、「どちらでもない」の割合が最も高く 30.0%となっている。次いで、「どちらかといえは関心がある」(29.1%) となっている。

年齢別にみると、関心があると回答する割合(「関心がある」「どちらかといえは関心がある」と回答する割合の合計値)では、30代と40代でその割合が4割を超えている。

図表 27 地域コミュニティ活動への関心 (単一回答)



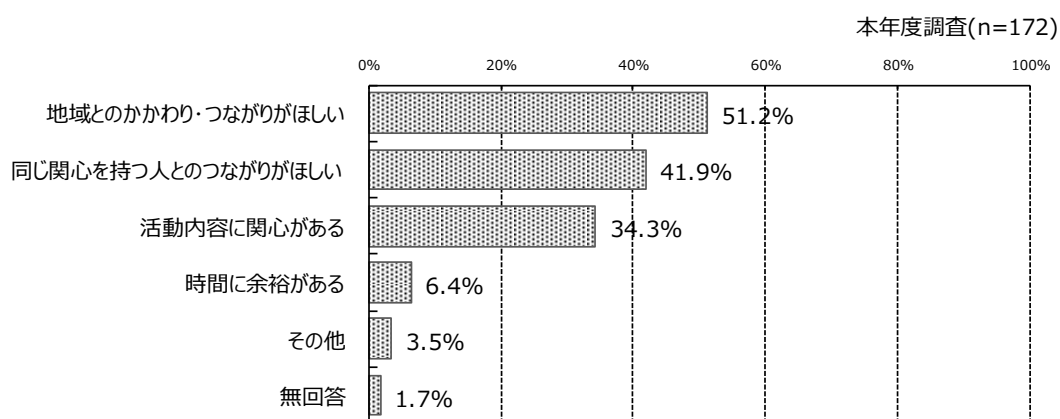
図表 28 【年齢別】地域コミュニティ活動への関心 (単一回答)

上段：n 数 下段：%	合計	関心がある	どちらかといえ ば関心が ある	どちらでも ない	どちらかといえ ば関心が ない	関心がない	無回答
合計	464	37	135	139	89	41	23
	100.0%	8.0%	29.1%	30.0%	19.2%	8.8%	5.0%
10代	3	0	0	1	1	0	1
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
20代	52	3	14	15	11	8	1
	100.0%	5.8%	26.9%	28.8%	21.2%	15.4%	1.9%
30代	72	8	23	18	11	12	0
	100.0%	11.1%	31.9%	25.0%	15.3%	16.7%	0.0%
40代	71	3	28	18	14	5	3
	100.0%	4.2%	39.4%	25.4%	19.7%	7.0%	4.2%
50代	86	3	29	27	18	7	2
	100.0%	3.5%	33.7%	31.4%	20.9%	8.1%	2.3%
60代	80	12	19	23	20	2	4
	100.0%	15.0%	23.7%	28.7%	25.0%	2.5%	5.0%
70代	55	3	11	25	5	3	8
	100.0%	5.5%	20.0%	45.5%	9.1%	5.5%	14.5%
80代以上	41	5	9	10	9	4	4
	100.0%	12.2%	22.0%	24.4%	22.0%	9.8%	9.8%

⑥現在、地域コミュニティ活動に参加していない層が地域コミュニティ活動に関心がある理由

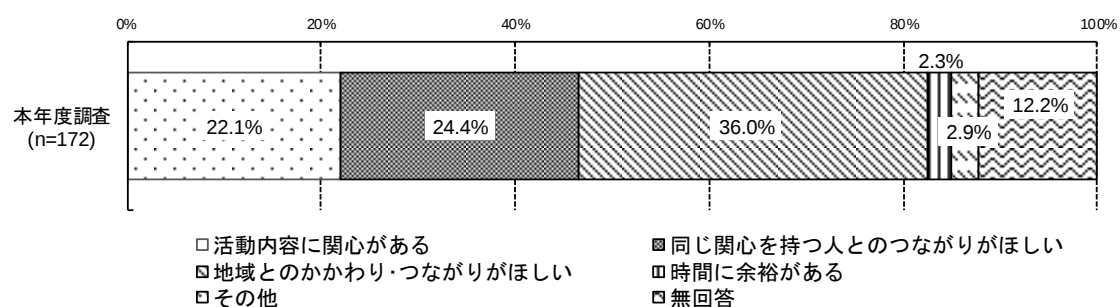
現在、地域コミュニティ活動へ参加していない回答者のうち、地域コミュニティ活動に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した人の理由をみると、「地域とのかかわり・つながりがほしい」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「同じ関心を持つ人とのつながりがほしい」(41.9%)、「活動内容に関心がある」(34.3%)となっている。

図表 29 地域コミュニティ活動に関心がある理由（複数回答）



また、特に地域コミュニティ活動に関心がある理由としては、「地域とのかかわり・つながりがほしい」の割合が最も高く 36.0%となっている。次いで、「同じ関心を持つ人とのつながりがほしい」(24.4%)、「活動内容に関心がある」(22.1%)となっている。

図表 30 地域コミュニティ活動に関心がある理由【特に】（単一回答）

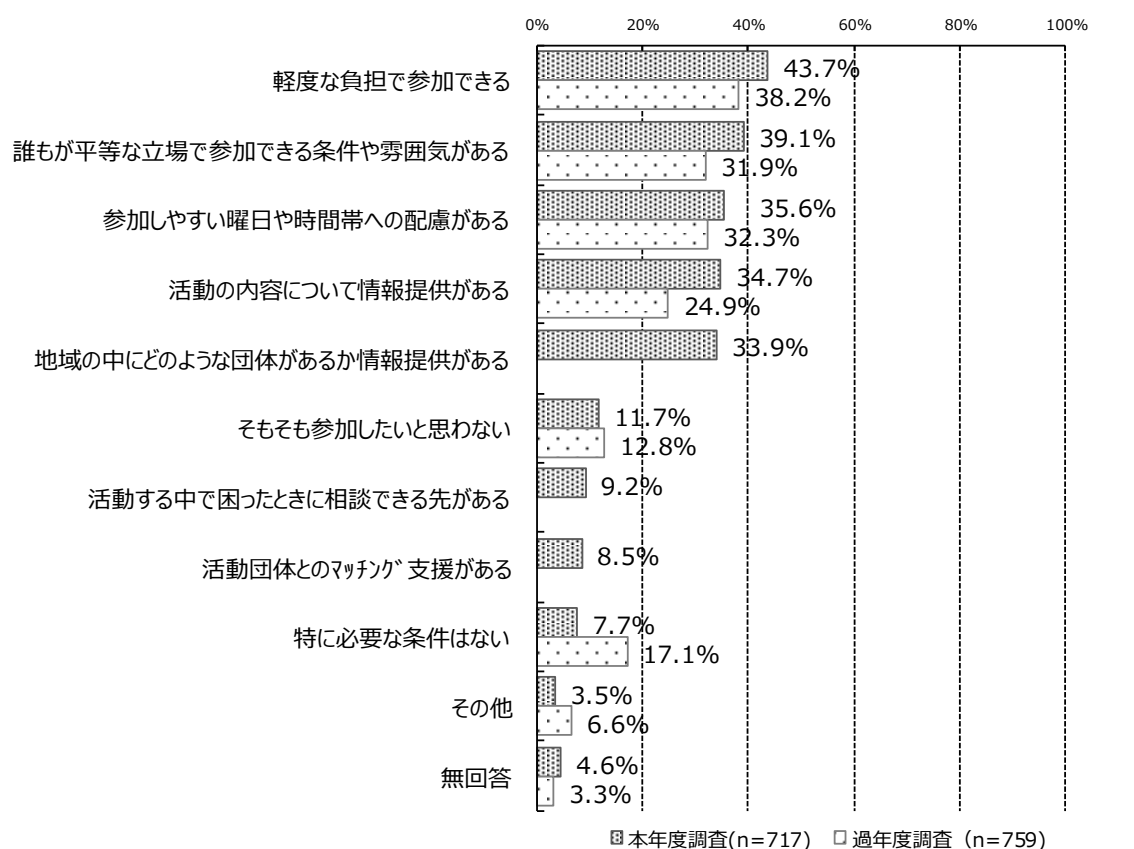


⑦地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なもの

本年度調査における「地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なもの」をみると、「軽度な負担で参加できる」の割合が最も高く 43.7%となっており、次いで、「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気がある」(39.1%)、「参加しやすい曜日や時間帯への配慮がある」(35.6%)となっている。

なお、過年度調査と比較すると、特段の傾向の差異はみられなかった。

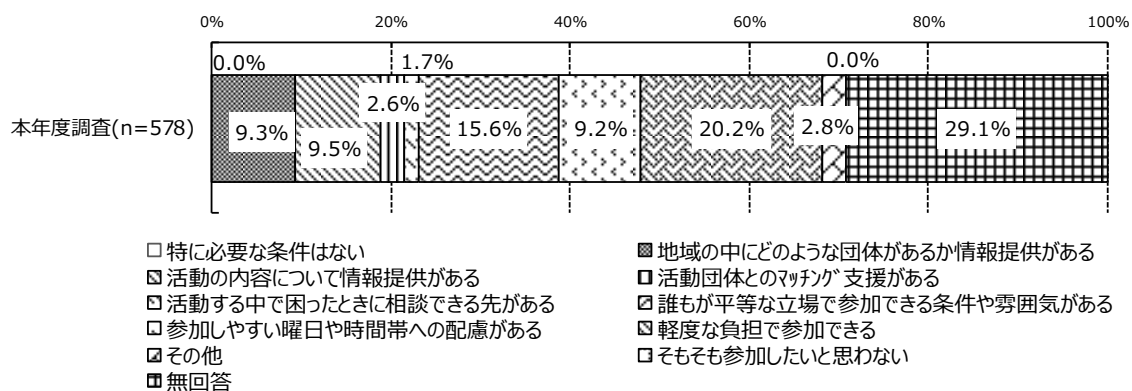
図表 31 地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なもの（複数回答）



注) 一部選択肢は過年度調査とは異なる

また、特に地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なものとしては、「軽度な負担で参加できる」の割合が最も高く 20.2%となっている。次いで「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気がある」(15.6%)、「活動の内容について情報提供がある」(9.5%)となっている。

図表 32 地域コミュニティ活動に参加しやすくなるために必要なもの【特に】（単一回答）



(4) コミュニティセンターについて

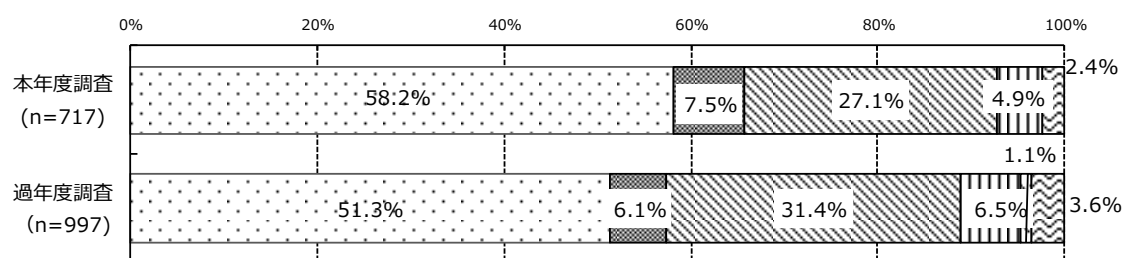
①コミュニティセンターの認知度

本年度調査における「コミュニティセンターの認知度」をみると、「最寄りのコミュニティセンターもわかる」の割合が最も高く 58.2%となっており、次いで、「具体的な内容はわからない」(27.1%)、「最寄りのコミュニティセンターはわからない」(7.5%)となっている。なお、過年度調査と比較すると、特段の傾向の差異はみられなかった。

年齢別にみると、認知していると回答する割合(「よく知っており、最寄りのコミュニティセンターもわかる」「コミュニティセンターがあることは知っているが、最寄りのコミュニティセンターはわからない」と回答する割合の合計値)をみると、20代でその割合は46.4%であり全体と比較して低い一方で、30代で約7割、40代で6割程度の人が認知している。

また、地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」と回答する層で「知っている」と回答する割合は8割を超える(16%「知らない」と回答している)。また、「どちらかといえば関わりたい」と回答する層の3割がコミュニティセンターを知らないと回答している。

図表 33 武蔵野市のコミュニティセンターの認知度(単一回答)



□最寄りのコミュニティセンターもわかる ■最寄りのコミュニティセンターはわからない ▨具体的な内容はわからない □全く知らない □その他 □無回答

注) 一部選択肢は過年度調査とは異なる

図表 34 【年齢別】武蔵野市のコミュニティセンターの認知度（単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	よく知っており、 最寄りのコミュニティ センターもわかる	コミュニティセン ターがあることは 知っているが、 最寄りのコミュニ ティセンターはわか らない	具体的な内容 はわからない	全く知らない	無回答
合計	717 100.0%	417 58.2%	54 7.5%	194 27.1%	35 4.9%	17 2.4%
10 代	5 100.0%	4 80.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
20 代	56 100.0%	21 37.5%	5 8.9%	20 35.7%	9 16.1%	1 1.8%
30 代	101 100.0%	51 50.5%	17 16.8%	21 20.8%	11 10.9%	1 1.0%
40 代	106 100.0%	55 51.9%	7 6.6%	37 34.9%	7 6.6%	0 0.0%
50 代	126 100.0%	81 64.3%	11 8.7%	30 23.8%	0 0.0%	4 3.2%
60 代	122 100.0%	71 58.2%	2 1.6%	46 37.7%	2 1.6%	1 0.8%
70 代	104 100.0%	67 64.4%	6 5.8%	21 20.2%	4 3.8%	6 5.8%
80 代以上	84 100.0%	55 65.5%	6 7.1%	18 21.4%	1 1.2%	4 4.8%

図表 35 【地域との関わり意向別（問 4）】武蔵野市のコミュニティセンターの認知度（単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	知っている	知らない	無回答
合計	717 100.0%	417 58.2%	276 38.5%	24 3.3%
深く関わりたい	69 100.0%	56 81.2%	11 15.9%	2 2.9%
どちらかといえば関わりたい	286 100.0%	188 65.7%	91 31.8%	7 2.4%
どちらともいえない	292 100.0%	149 51.0%	133 45.5%	10 3.4%
どちらかといえば関わりた くない	44 100.0%	13 29.5%	29 65.9%	2 4.5%
関わりたくない	17 100.0%	6 35.3%	10 58.8%	1 5.9%

②コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度

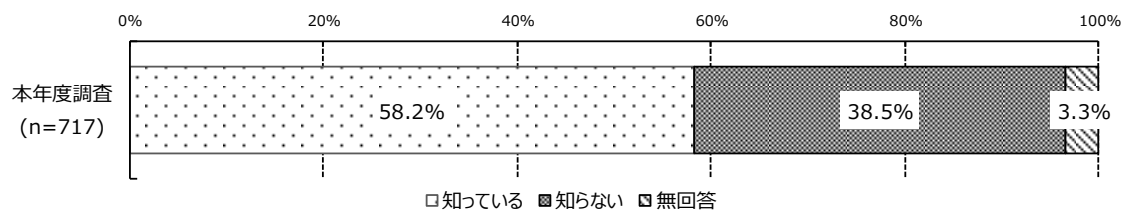
コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度をみると、「知っている」と回答した人の割合が 58.2%となっており、「知らない」（38.5%）と回答した人より約 2 割ほど高くなっている。

年齢別にみると、特に 20 代や 30 代の若年層で「知っている」と回答する割合が全体と比較して低い傾向にある。

コミュニティセンターの認知度別にみると、「よく知っており、最寄りのコミュニティセンターもわかる」と回答する層は、8 割近くが地域住民によって運営されていることを認知している（2

割は認知していない)。

図表 36 コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度 (単一回答)



図表 37 【年齢別】コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度 (単一回答)

上段：n 数 下段：%	合計	知っている	知らない	無回答
合計	717 100.0%	417 58.2%	276 38.5%	24 3.3%
10 代	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
20 代	56 100.0%	16 28.6%	40 71.4%	0 0.0%
30 代	101 100.0%	43 42.6%	57 56.4%	1 1.0%
40 代	106 100.0%	57 53.8%	48 45.3%	1 0.9%
50 代	126 100.0%	73 57.9%	49 38.9%	4 3.2%
60 代	122 100.0%	76 62.3%	43 35.2%	3 2.5%
70 代	104 100.0%	75 72.1%	22 21.2%	7 6.7%
80 代以上	84 100.0%	63 75.0%	13 15.5%	8 9.5%

図表 38 【コミュニティセンターの認知度別 (問 12)】
コミュニティセンターが地域住民によって運営されていることの認知度 (単一回答)

上段：n 数 下段：%	合計	知っている	知らない	無回答
合計	717 100.0%	417 58.2%	276 38.5%	24 3.3%
よく知っており、最寄りの コミュニティセンターもわかる	417 100.0%	327 78.4%	82 19.7%	8 1.9%
コミュニティセンターがあ ることは知っているが、 最寄りのコミュニティセン ターはわからない	54 100.0%	18 33.3%	35 64.8%	1 1.9%
具体的な内容はわから ない	194 100.0%	68 35.1%	122 62.9%	4 2.1%
全く知らない	35 100.0%	0 0.0%	35 100.0%	0 0.0%

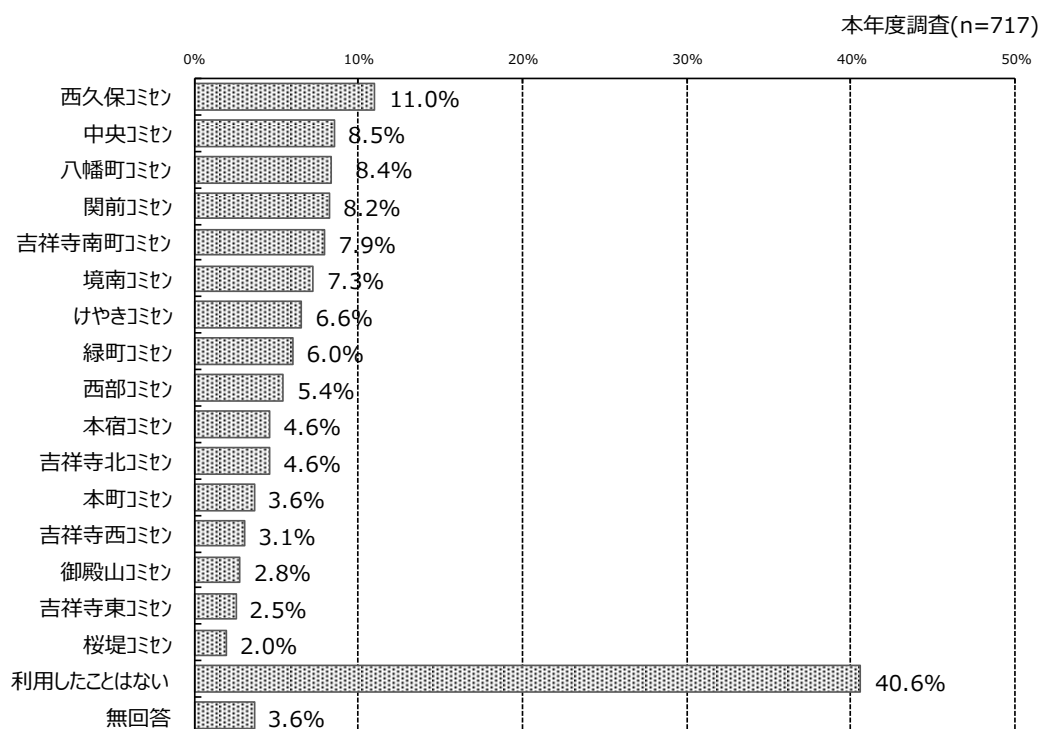
③利用しているコミュニティセンター

コミュニティセンターを利用していると回答する割合は、55.8%であり過半数は利用したことがあると回答している。年齢別でみると、20代で「利用している」と回答する割合は全体と比較して低い傾向にある一方で、30代・40代では過半数に上る。

また、利用しているコミュニティセンターを見ると、「西久保コミセン」と回答する人の割合が最も高く 11.0%である。次いで、「中央コミセン」(8.5%)、「八幡町コミセン」(8.4%)となっている。

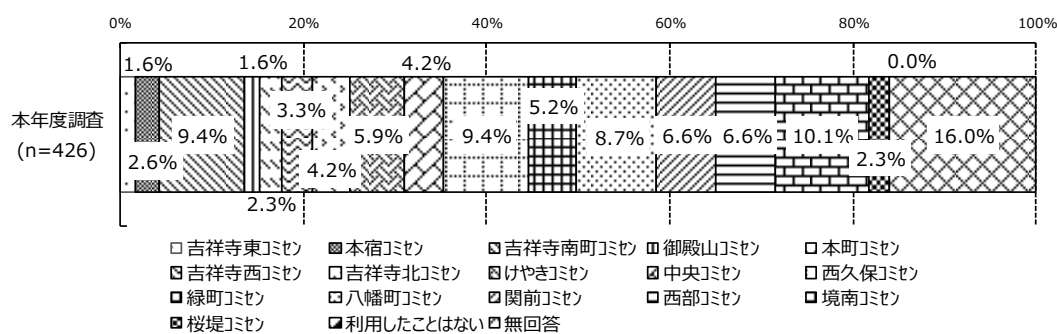
地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」と回答する層で「利用している」と回答する割合は7割程度であるが、一方で、3割程度が地域との関わり意向があるにも関わらず利用していない。

図表 39 利用しているコミュニティセンター（単一回答）



最も利用頻度の高いコミュニティセンターについてみると、「境南コミセン」の割合が最も高く 10.1%となっている。次いで「吉祥寺南町コミセン」(9.4%)、「西久保コミセン」(9.4%)となっている。

図表 40 最も利用頻度の高いコミュニティセンター（単一回答）



図表 41 【年齢別】コミュニティセンターの利用状況（単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	利用している	利用していない	無回答
合計	717	400	291	26
	100.0%	55.8%	40.6%	3.6%
10 代	5	4	1	0
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%
20 代	56	20	36	0
	100.0%	35.7%	64.3%	0.0%
30 代	101	54	44	3
	100.0%	53.5%	43.6%	3.0%
40 代	106	66	36	4
	100.0%	62.3%	34.0%	3.8%
50 代	126	73	50	3
	100.0%	57.9%	39.7%	2.4%
60 代	122	60	61	1
	100.0%	49.2%	50.0%	0.8%
70 代	104	60	36	8
	100.0%	57.7%	34.6%	7.7%
80 代以上	84	53	25	6
	100.0%	63.1%	29.8%	7.1%

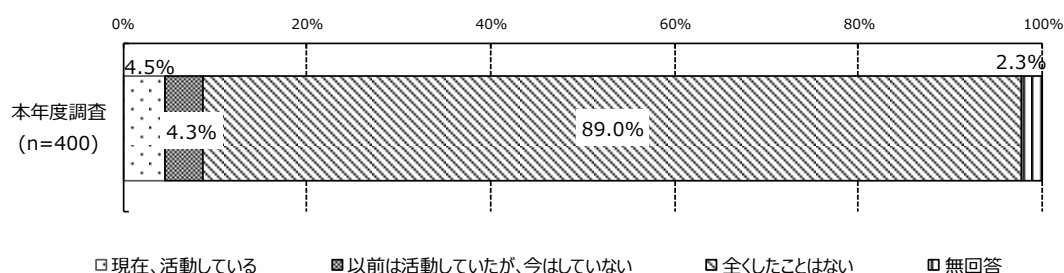
図表 42 【地域との関わり意向別（問 4）】コミュニティセンターの利用状況（単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	利用している	利用していない	無回答
合計	717	400	291	26
	100.0%	55.8%	40.6%	3.6%
深く関わりたい	69	49	19	1
	100.0%	71.0%	27.5%	1.4%
どちらかといえば関わりたい	286	195	79	12
	100.0%	68.2%	27.6%	4.2%
どちらともいえない	292	136	146	10
	100.0%	46.6%	50.0%	3.4%
どちらかといえば関わらない	44	11	31	2
	100.0%	25.0%	70.5%	4.5%
関わりたくない	17	4	13	0
	100.0%	23.5%	76.5%	0.0%

④コミュニティセンターの運営面に携わった経験

コミュニティセンターの運営面に携わった経験をみると、「全くしたことはない」の割合が最も高く 89.0%と最も多い。次いで、「現在、活動している」(4.5%)、「以前は活動していたが、今はしていない」(4.3%)となっている。

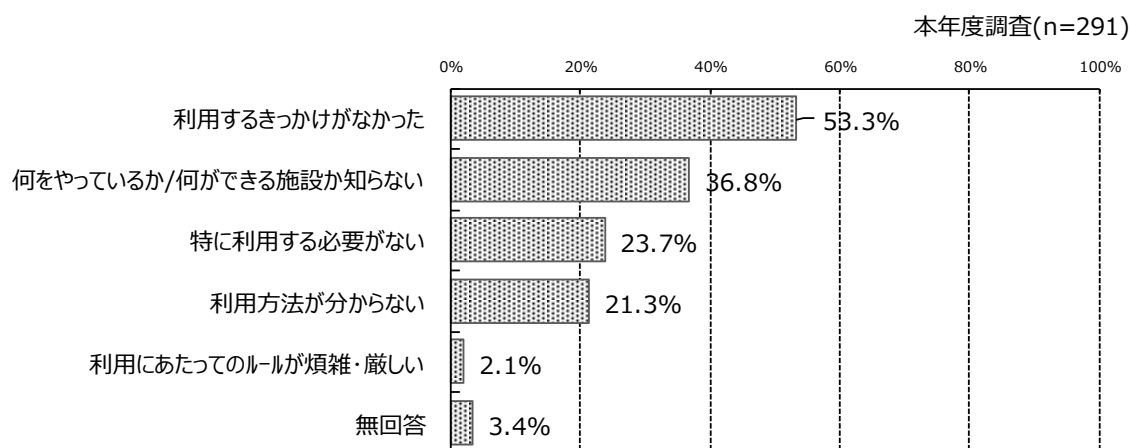
図表 43 コミュニティセンターの運営面に携わった経験（単一回答）



⑤コミュニティセンターを利用していない理由

コミュニティセンターを利用していない理由をみると、「利用するきっかけがなかった」の割合が最も高く 53.3%となっている。次いで、「何をやっているか/何ができる施設か知らない」(36.8%)、「特に利用する必要がない」(23.7%)となっている。

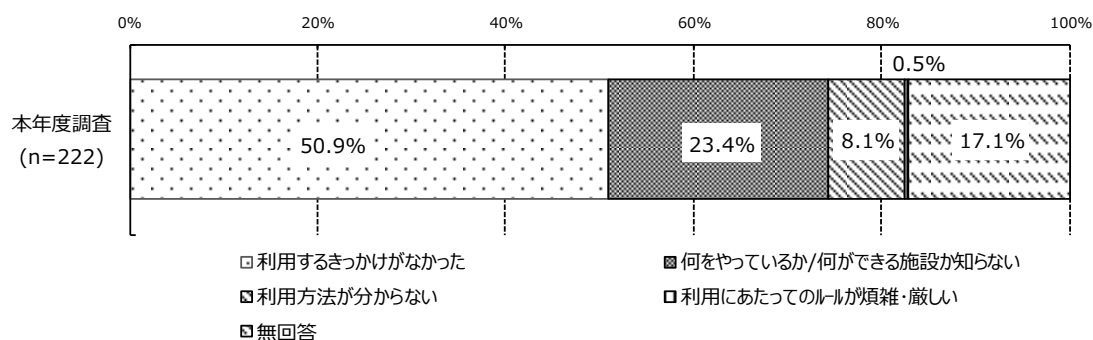
図表 44 コミュニティセンターを利用していない理由（複数回答）



また、利用していない理由として特にあてはまるものについてみると、「利用するきっかけがなかった」と回答する人の割合が最も高く 50.9%となっている。次いで、「何をやっているか/何ができる施設か知らない」(23.4%)、「利用方法が分からない」(8.1%)となっ

いる。

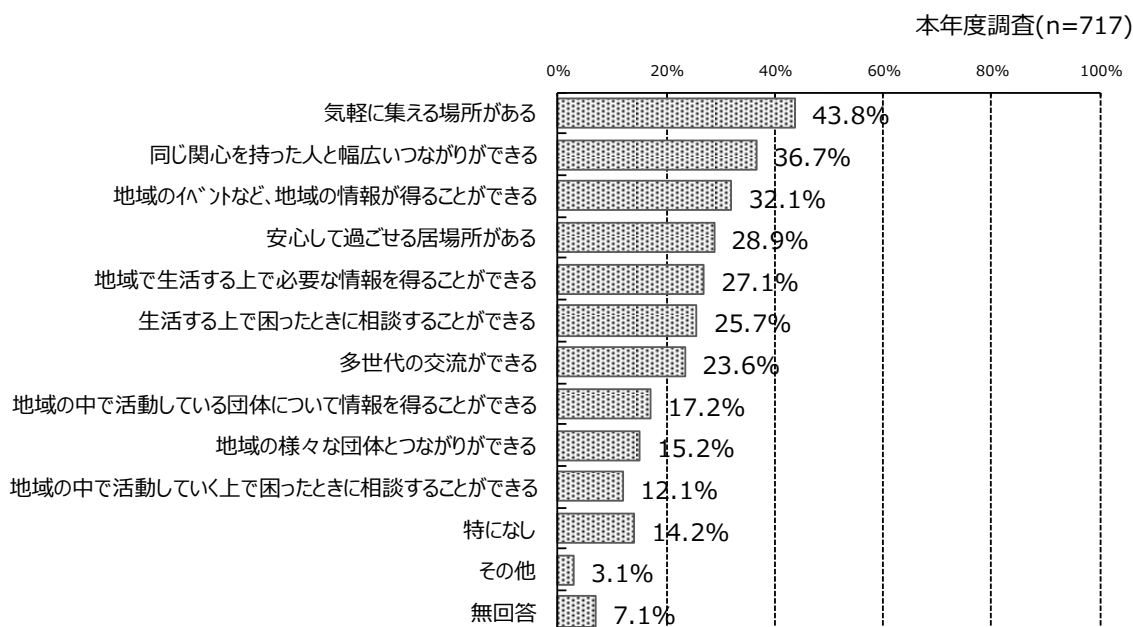
図表 45 コミュニティセンターを利用していない理由【特に】（単一回答）



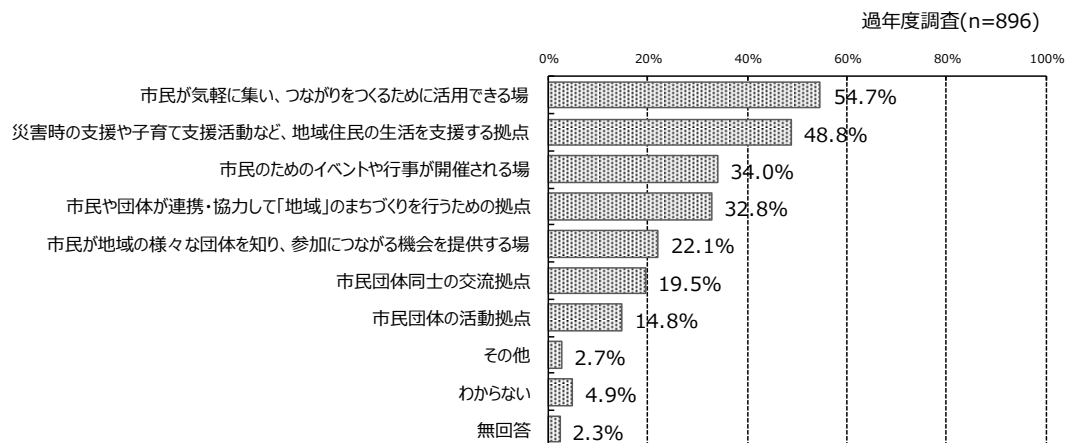
⑥コミュニティセンターに求める機能・サービス

本年度調査における「コミュニティセンターに求める機能・サービス」をみると、「気軽に集える場所がある」の割合が最も高く 43.8%となっており、次いで、「同じ関心を持った人と幅広いつながりができる」(36.7%)、「地域のイベントなど、地域の情報が得ることができる」(32.1%)となっている。

図表 46 コミュニティセンターに求める機能・サービス（本年度調査・複数回答）

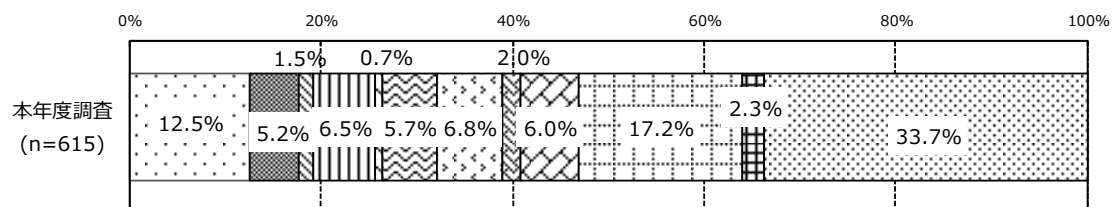


図表 47 【参考】コミュニティセンターに求める機能・サービス（過年度調査・複数回答）



また、コミュニティセンターに求める機能として「特に当てはまるもの」をみると、「気軽に集える場所がある」と回答する人の割合が最も高く 17.2%となっている。次いで、「同じ関心を持った人と幅広いつながりができる」(12.5%)、「子育てや地域福祉など、地域で生活する上で必要な情報を得ることができる」(6.8%) となっている。

図表 48 コミュニティセンターに求める機能・サービス【特に】（単一回答）

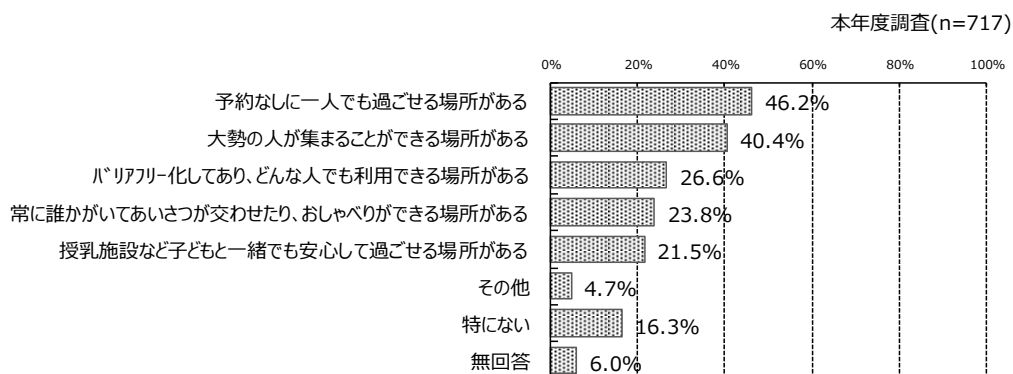


- ☐ 同じ関心を持った人と幅広いつながりができる
- ☒ 多世代の交流ができる
- ☒ 地域の様々な団体とつながりができる
- ☐ 生活する上で困ったときに相談することができる
- ☒ 地域の中で活動していく上で困ったときに相談することができる
- ☒ 地域のイベントなど、地域の情報が得ることができる
- ☐ 子育てや地域福祉など、地域で生活する上で必要な情報を得ることができる
- ☒ 地域の中で活動している団体について情報を得ることができる
- ☒ 安心して過ごせる居場所がある
- ☐ 気軽に集える場所がある
- ☐ その他
- ☐ 無回答

⑦コミュニティセンターに求める空間や設備

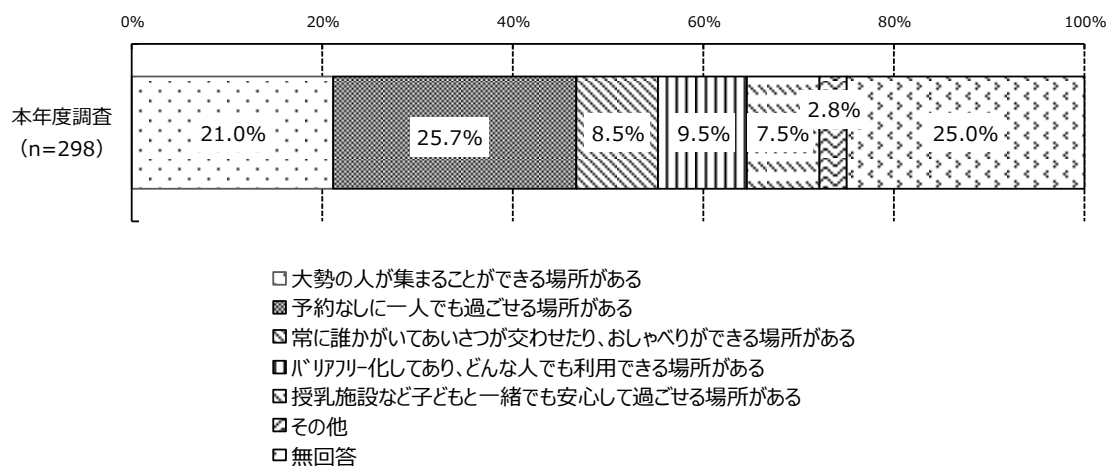
コミュニティセンターに求める空間や設備をみると、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある」と回答する人の割合が最も高く 46.2%となっている。次いで、「大勢の人が集まることのできる場所がある」(40.4%)、「バリアフリー化してあり、どんな人でも利用できる場所がある」(26.6%)となっている。

図表 49 コミュニティセンターに求める空間や設備（複数回答）



また、コミュニティセンターに求める空間や設備として「特に当てはまるもの」をみると、「予約なしに一人でも過ごせる場所がある」と回答する人の割合が最も高く 25.7%となっている。次いで、「大勢の人が集まることのできる場所がある」(21.0%)、「バリアフリー化してあり、どんな人でも利用できる場所がある」(9.5%)となっている。

図表 50 コミュニティセンターに求める空間や設備【特に】（単一回答）



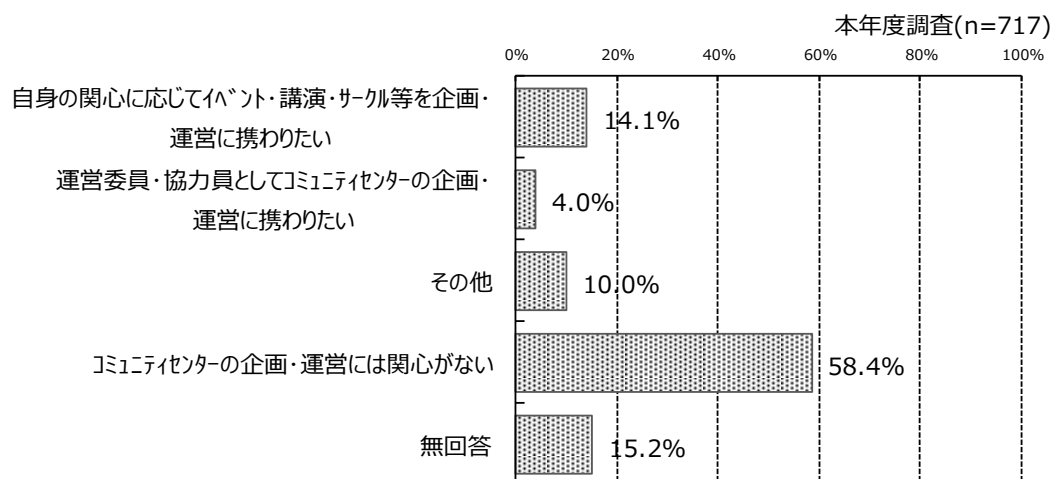
⑧コミュニティセンターの企画・運営への関心意向

コミュニティセンターの企画・運営に関心があると回答する割合は 26.4%であり、関心がないと回答する割合は 58.4%に上る。

また、関心があると回答した回答者の参加したいと思うコミュニティセンターの企画・運営の内容をみると、「運営委員・協力員としてコミュニティセンターの企画・運営に携わりたい」の割合が最も高く 14.1%となっている。次いで、「その他」(10.0%)、「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい」(4.0%)となっている。

地域と関わりに関する今後の意向別にみると、「深く関わりたい」と回答する層で「自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい」と回答する割合が 34.8%で全体と比較して高い傾向にあり、また「運営委員・協力員としてコミュニティセンターの企画・運営に携わりたい」と回答する割合も 11.6%に上る。

図表 51 参加したいと思うコミュニティセンターの企画・運営（複数回答）

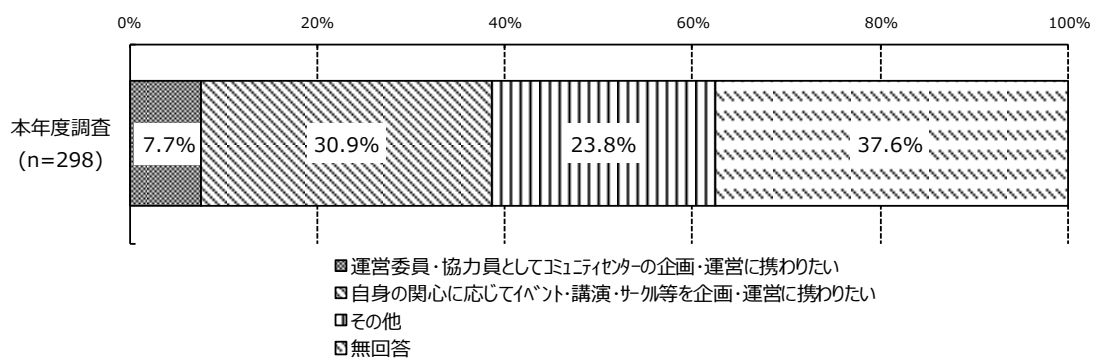


図表 52 【地域との関わり意向別（問4）】参加したいと思うコミュニティセンターの企画・運営（単一回答）

上段：n 数 下段：%	合計	運営委員・協力員としてコミュニティセンターの企画・運営に携わりたい	自身の関心に応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい	その他	コミュニティセンターの企画・運営には関心がない	無回答
合計	717	29	101	72	419	109
	100.0%	4.0%	14.1%	10.0%	58.4%	15.2%
深く関わりたい	69	8	24	11	19	12
	100.0%	11.6%	34.8%	15.9%	27.5%	17.4%
どちらかといえば関わりたい	286	16	51	33	144	47
	100.0%	5.6%	17.8%	11.5%	50.3%	16.4%
どちらともいえない	292	5	25	24	204	37
	100.0%	1.7%	8.6%	8.2%	69.9%	12.7%
どちらかといえば関わりたくない	44	0	1	3	36	4
	100.0%	0.0%	2.3%	6.8%	81.8%	9.1%
関わりたくない	17	0	0	0	13	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.5%	23.5%

また、参加したいと思うもののうち「特にあてはまるもの」をみると、「自身の関心に
応じてイベント・講演・サークル等を企画・運営に携わりたい」と回答する人の割合が最も高く
30.9%となっている。次いで、「その他」（23.8%）、「運営委員・協力員としてコミュニティセンターの
企画・運営に携わりたい」（7.7%）となっている。

図表 53 参加したいと思うコミュニティセンターの企画・運営【特に】（単一回答）



(5) 自由回答

① コミュニティセンターにおいてご自身が活動してみたいこと

【サークル活動・イベント活動への参加】

- ・ 夜の趣味のサークル、楽器演奏やお茶・お花・ヨガ・手仕事のボランティア・書道・P C の勉強会・スマホの使い方勉強会、etc
- ・ 読み聞かせや話しをすることが好きなので、そういった機会があれば是非参加したいです。休みが決まった曜日でないので、気軽に行ける日を決められるとありがたいです。
- ・ 自然科学に関するイベントなら企画・運営に関わってみたいです。
- ・ 「健康麻雀入門者」の体験者募集して欲しい。リビングむさしの 2019 年 7 月 12 日号で実施するとの告知あり、武蔵野地区でも麻雀の初心者に教えてくれる場を作って欲しい。老後の付き合いに利用したい。
- ・ 最近は健康麻雀が流行ってるので、コミセンに置いてあれば良いなと思います。ぜひお願いします。
- ・ 健康マージャン
- ・ 海外の方をお招きし言語サークルのようなものを開きたい。互いの文化や言語を知る。
- ・ 地域の方と一緒に食と文化について考える会を開き、講師に土井善晴さんのような方を呼んでいただき、デモンストレーションを含めみんなで食したい。
- ・ 趣味な物、又料理等も一緒に出来れば楽しいと思う。
- ・ 料理教室
- ・ ウイスキーセミナー
- ・ 合唱など先生が来てくれて教えてもらえる場
- ・ 手話教室
- ・ 書道教室があれば参加したい。
- ・ 映画鑑賞 etc
- ・ 習い事的な物があれば是非参加してみたいが、日中などの時間帯は難しいので、参加出来そうな枠があれば参加してみたいです。
- ・ フリーマーケットへの参加
- ・ 北コミの Free 時間によく体育館を使っていた。バドをやっていたが、ただしバスケットがメインで（多くの人がある）中々思うように出来なかった。休日などに時間でかりて、サークル活動（バドミントンの）など出来たらと思っているが、今は技術指導力の向上を図っている期間なので、いずれそのような活動が出来ればいいなとぼやーっと思っている
- ・ 卓球台があるようなので子が成長したら一緒にやりたい。コミュニティセンターは内輪感を出すおじさまおばさまがカウンターにいる事が多いので入りにくい。地域のウワサ話をしてるのが耳についたりするし・・・
- ・ 卓球など気軽に体を動かして交流できる場
- ・ ヨガ教室

- ・ 趣味を一緒に楽しめる仲間づくり
- ・ 同じ環境・似たような年代のつながりが持てるような活動があれば参加してみたい。
- ・ フリーマーケットの実施（毎月 1 回程度）
- ・ 今、仕事をしていますので（土）（日）もしくは、夕方しか参加できません。パソコン教室、またはインターネットの使い方など参加したいと思っています。続けて参加する事は、むずかしいので、一回ごとの参加できるセミナーなどがあれば利用しやすいですね。
- ・ ヨガ、ピラティス等、安価で教えていただけたら、うれしい。
- ・ 多少お金がかかってもいろんな事を学んでみたい。

【協議会運営への参加】

- ・ いろいろな人が参加することで風通しのよい、地域の人みんなが居心地がよいと感じる空間を作れたらいいと思います。使用している人がいつも同じで広がりがないのは、新しく利用したいという気持ちを持った人には気軽に入れる場所とは感じにくく、足が遠のいてしまう印象です。空間作りから改革できるといいなと感じます。お手伝いができれば参加したいです。
- ・ 親子広場はもちろん、人手が足りなければお手伝いしたい。特定の人達しかコミセンを利用していない気がする。行くコミセンによってボード状況が違うが、西久保コミセンはいつもかなり埋まっているように見受けられる。ので、うまく部屋を運営している印象を受ける。また、八幡コミセンはお祭りのクオリティが非常に高く、また行きたいと思わせる運営をしていると思う。私は、子供を産むまで 30 年、自らほとんどコミセンを利用した記憶がなし。それ以外の年代の人、もっと利用出来るような企画・運営を出来るのならばやってみたい。そうでないとコミセンがもったいないと思う。
- ・ IT やインターネットに詳しく、ソフトウェアを開発しているのでコンセンの HP を使いやすく改善したいと思っている。
- ・ 各施設(利用部屋)の予約・利用状況の Web 検索・登録システムの構築のお手伝い。
- ・ 自分の知識・スキル等でワークショップなど行なう etc

【地域課題の解決に向けた活動への参加】

- ・ 地域防災を目的とした近隣向う三軒両隣の組織化。このことにより災害時の自助力、共助力を高める。
- ・ 来るべき災害についての防災活動の必要があると思うが、自主防災組織が活動をしている所を見ない。防災訓練等をしてみたいと思うが、いつ頃行われているのか、わからない。
- ・ 防災活動であれば参加したい
- ・ もし災害が起きた時、どこで、どう助け合えるか?考えると、やはりすぐ近くの人達と安心して助け合える人間関係を平日頃作っておくのが大切だと思い、実行している。
- ・ 子育て支援をコミセンでもやっていると思いますが、より充実するとよいと思います。具体的には、小さな子をもつ親が親同士の好きなこと趣味を深める時間（運営に協力してくださる方が子

を少しあやしたり、みてくれたりするとうれしい)

- ・ 子連れで定期的に（週に1回程度）集まるイベント（ヨガ、歌、お話会など）があると友達をつくりやすく地域とのつながりを感じやすいと思います！
- ・ 子供が楽しめるイベントがあれば活動してみたいです。仕事をしているので、平日の集まりは難しいですが…。
- ・ 子どもと絵本の読みきかせや、スペースで遊びたいが、平日は働いている為、土日においても、子ども向けの親子で参加できる活動があればと思います。
- ・ 1、2、3のように立ち寄ったついでに参加できるイベント等、定期的にあったりすると良いなと思う。1、2、3も4歳～は利用しづらいのでその年齢の子が参加できるイベントがあると良いなと思う。
- ・ 以前やっていたスタンプラリー復活してほしい。子供と一緒に色々なコミセンを回るのが楽しかった。景品はそれほどなくても良いから、子供達はスタンプ押せるだけでも楽しめた。
- ・ 福祉など年配者の方の助けになる様なコミュニティーがあればお手伝いしたい。
- ・ 肢体不自由児・者に向けたイベントがあれば参加したい。障がい者本人・介助者(家族)にとって、地域のバリアフリーについての未来図や計画案等の情報を知れると良い。単なる説明会ではなく、障がい児・その兄弟や家族が楽しく気軽に参加できるものが望ましい。
- ・ 私は社会福祉士の資格を持っていますが、今のところこの資格を十分活かしきれていません。本アンケートが地域コミュニティに関することなので、ソーシャルワークという観点から興味はあります。しかし、自分の地域にどのような生活課題を抱えた人が、どのくらいいるかは全くわからないのが現状です。自分の情報発信不足もあるとは思いますが、個人としてどのようにコミセンに関われるか、今のところよくわかりません。気軽に行ける相談窓口のようなものがあると、利用しやすくなるかもしれないと思います。
- ・ おそうじボランティア的な事(町の)
- ・ 2025年のサイバーセキュリティを省庁にするという提言が今年自民党から出されている。これは仮想通貨で500億円以上、7payで5500万円など、すでに様々な被害が出ているが、官として間に合っていない状況に対しての対応の動きである。小生は国で唯一のセキュリティの国家資格「登録情報セキュリティスペシャリスト」であり、同資格保持者により今年団体を作るそのメンバーの一員であり、すでに各省庁とやりとりしており、地域におけるサイバーセキュリティ対策の遅さが課題として挙がっている。そこで、学校やITセキュリティの教育が必要な個人、団体へ教育することで、インターネットやIoTなどみんなが使っているが、実は危ないものに対して啓蒙活動を行うことで貢献したい。

② その他のご意見

【コミュニティセンター全体に関するご意見について】

- ・ 自営業なのでコミセンの運営とか気にはなりますが、時間的余裕がないのでただ 1.

利用者としてコミセンを使わせて頂いております。年齢的にも若ければ運営に交わられたらと思う事もありました。最近は色々嫌な事件、事故が多々あるので、身近な「かけ込み寺？」的な存在でコミセンがあったらな。と思います。

- ・ どのコミセンも高齢者の方が利用しているイメージで子育て世代には少し敷居が高いように感じる。
- ・ コミュニティセンターを身近に感じられない。
- ・ コミセンが地域のやすらぎの場として、気軽に立ち寄ったり情報広場になったり、子供たちにとって安心安全な空間だったりお母さんたちの集会所になったり、高齢者の方々の集いの場所、合言葉は「そうだ、コミセンに行ってみよう！」世代を超えて、地域の方々のアイデアが広がりを作っていくような場所がコミセンの理想です。
- ・ コミセンについて改善して欲しいことを書く欄はないのですか？コミセンがあまりにもご高齢の方の場になっていて利用しづらいです。フリマがあれば少し参加してみたいです。
- ・ 今は利用することが減りましたが、子育て時代は保護者や子どもの集まりで、とてもよく使いました。とても大事な施設だと思います。
- ・ 親が働いている家庭の子供が、一人で家にいなくても良いよう安心してすごせる空間があるといい。
- ・ 現在、高齢化社会であり、自分が住む緑町もそれが現れている。子ども達とお年寄りが交わることが少なくなっている→その要因の一つとしてスマホやゲームなどがあり、家など閉じこもってしまう。⇒多世代が交流できるよう、子どもが外の活動に魅力を感じるような場の提供。
- ・ 子供が図書館やプレイスは混んでいて勉強をしたくても席がないと言っているから、コミセンとかで出来るといいと思う。
- ・ 子供のいる世帯・古くからいる世帯が中心になっている雰囲気があるので、新規世帯や子供のいない世帯も参加しやすい環境があると良いと思う。
- ・ コミセン＝老人のための場所というイメージです。子育て世代は忙しくて利用する機会が少ないのでは？と思います。特に持ち家でない場合は、地域に深くコミットするメリットも少ないです。雨の日に元気な幼稚園児を降園後に心置きなく遊ばせる場所がなくて困っています。特に水曜日は午前保育なので…水曜日の昼～夕方までは、子どもたちのために使えるようにしてもらえると助かります。
- ・ 私は関西から主人の転勤で東京本社に勤める事なり終の住み家になりました。少し目の方が悪くなり武蔵野は何もかも行き届きとても好い市に感じます。コミュニティセンターにも五分程で行けますので、時々隣人にさそわれて行っております。

【運営・管理面へのご意見】

○予約について

- ・ 使用予約をネットで出来るようにする
- ・ 例えば、利用時に受付で住所、氏名を書かせるところがある。プライバシーへの侵害と思う。
- ・ 利用（部屋の予約など）が電話やネットでできない。特に1ヶ月前の同日からということではイベントなどの予定がたたない。
- ・ 利用予約方法が電話のみなのが残念。スマホでの予約が可能になれば、利用者の目にとまり利用者数の増加(底上げ)は望めず、今後PC利用低下していくなかで必須かと思われます。PCサイトもとにかく見にくく、今のサイト構成のイメージでは若手利用者は今後も減少し、価値の低下が進むかと思われます。

○情報発信について

- ・ コミュニティセンターの使い方など基本的なことを皆で知るオリエンテーションのようなもの。
- ・ どのような活動があるかを知りたい。入りたい時、入るにはどうしたらよいかを知りたい。
- ・ コミセンで、現在どのようなサークルがあるのか良くわからないので、どんな活動がされているのか知りたい。近くにあるので、興味のある活動には参加したいと思っているが、孫の世話を頼られたりして、時間にゆとりがないので企画運営など責任ある仕事はできかねる。軽い体操やヨガ、コーラス、立札のお茶などができるならば、参加してみたいと思っています。
- ・ お祭りへの参加方法を知りたいです。

○運営員・協力員について

- ・ 近くに在り、仲間との会合など利用させて頂ける貴重な存在であり、感謝しております。
- ・ 子どもが保育園～小学生まではコミセンにはお世話になっていました。何人ものボランティアさんにぶじかえる（学童後の子供の見守り）などで毎日のように手をかけていただき、感謝しかありません。今はぶじかえるありませんが、どうにもならない子育ての助け等、いつか自分も何かの形でお返しができればと思っています。
- ・ いつもボランティアで地域の関りを作って下さってありがとうございます。孤独死などが深刻化している現代、このようなコミュニティセンターの存在は大切だと思います。いつもありがとうございます。
- ・ センターの企画に関心がありますが、委員の人が常に同じ人の様で、運営にも新しさが感じられない。
- ・ 自分の特技(書道を教えられる)などを“地域のコミセンで、地域のつながりのために、地域の方々へ教える”日々コミセンを見ていて自分もいつか…と憧れますが、とにかく

く場所取りが大変(夜通し並ぶなど)なイメージを皆お持ちだと思うので、そこをもっと門戸が広がる策を講じれば、地域のつながりや高齢化社会に向けてなど(コミセンを増やすなど)、“そんなにお金を持ってなくとも大人も子どもも利用できる”というコミセンの利点をもっと拡大できるのではと思いました。

- ・メンバーが一定(化)しているのでメンバーを年限制にし、継続は10年以下として下さい。但し空間をもうけ1年以内ならとして再選可としたらどうか。よく後継者がいないと聞くと、役員等になった委員は後継者を育成するを忘れないでほしい。
- ・本町コミセンの場合、地域の為にではなく他市の人達の為のコミセンの様に思えます。駅の近くに有る為に集合場所に便利の様です。
- ・本町コミセンは特に対応が悪い。改善してほしい。武蔵野市の中で最悪である。改善して下さい
- ・桜堤コミセンは3丁目の親睦会と一緒にっていてコミセンに入りにくい。
- ・雰囲気が悪い(威圧的)なので行かない
- ・常に同じメンバーが徒党を組んでいるイメージがある。全くの初心者でも気軽に参加・交流できるコミセンになればと思う。
- ・西部コミセンのスタッフで物凄く偉そうな感じの悪いおばさんがいたので、関わりたくはない。
- ・住民が平等に気軽に参加できるコミセンがいい。特定の人が使用し顔がきくという感じの現状があるのではないか。プレイスという場所があるが、そのようなところにコミセンがあってほしいイメージの場所と思う。今は若者が集える場所ではないように思う。住民参加のあり方を考えたほうがよいと思う。
- ・常に使用している人の場なのだと最近感じた。とても不快だった。
- ・苦情ー緑町コミセン利用時(1階フリースペース)窓口担当の人のおしゃべりが大きな声で耳障りでした。(高齢者ではない女性の声)
- ・事業が硬直化、マンネリ化しており、かつ利用者も固定している。コミュニティセンターとしての役割が感じられず、単なる貸しギャラリー、娯楽施設に終わっている。特に西部コミセンはそのような印象を受ける。三鷹、西久保の一部のコミセンのようなコミュニティ活動を望む。ご参考まで、地域サロン「ぷらっと」関連の拙著のチラシを同封させていただきますが、近年はプレイスとの関係を重視しています。以上
- ・コミュニティセンターでは一部の地域のうるさい方々が中心で活動していて、日常から使ったことがない人には参加しにくいような場所と想像する。若い人の活動自体あるのでしょうか。生活する…働くことが中心の日々なので、休日に貴重な休みの時に参加したくなるような場なのではないでしょうか。
- ・企画・運営には向いていないので、何か利用できそうな時は利用させて頂いてます。全体的にご高齢の方が参加することが多いので、もっと色んな、特に20~30代の方に興味をもって参加しやすいイベントなどあればより活性化するのではと感じます

○備品等の管理について

- ・ スリッパ履きなどで、不潔なところがある。
- ・ 図書館の端末と借りるための窓口/返却 BOX の設置、運動用の設備の設置をお願いします。

【施設（ハード）へのご意見について】

- ・ 私は身体に障害があります。同じ障害を持つ人達と定期的に集まっていますが、集まる場所が少ないので困っています。バリアフリーを望みます。そして、予約方法も電話でできると良いです。直接、行く事が難しい人達の事も考えてほしいです。
- ・ 小さな子供を遊ばせるのに必要な広くてきれいな施設が少なくて、とても悲しいです。はらっぱのような施設をもっと作って下さい。渋谷区・港区のように託児付きの講座をもっと開催して下さい。いくつかコミュニティセンターを見に行きましたが、どこも狭くて暗い雰囲気を感じました。宜しくをお願いします。
- ・ 日本国籍でない学生や労働者とアクセスできる空間としてのコミュニティセンターのあり方を考えるべきだ。
- ・ 何んで境にコミセンがないのか？新設すべきである。
- ・ 読書したり、勉強したり、ぬい物や手芸などの作業をしても良いスペースがあるといいなと思います。ゆっくり、お茶、コーヒーなど飲んでくつろぐ場所があるといいですね。
- ・ コミュニティセンターにおける高齢者（要介護者）の収容機能を充実させて欲しい。武蔵野市にはこの施設や機能に欠ける。

【市へのご意見】

- ・ コミュニティセンターではなく、市役所に相談コーナーがあると良い。もし作るなら市政の範囲を越えるサービスを提供して欲しい。また、時間や場所を限定しないインターネットの様な仕組みでサービスを提供して欲しい。
- ・ こうしたアンケートも紙ではなく、ウェブでやるべき。
- ・ このアンケートで意義・効果はあるのでしょうか。税金の無駄遣い!!
- ・ 訂正のハガキが届きましたが、調査票送付先 2,500 人分ならハガキ代 62 円×2,500 =155,000 円になります。税金の無駄遣いは止めて下さい。印刷する前に防げたミスですね！もっと気を引き締めて公務を果たして下さい。
- ・ 80 代後半の人はこの様なアンケートをとっても参考にならないのでは!?気持ちはあっても体力的に参加は無理です。アンケートの取り方を考えて下さい。
- ・ コミュニティセンターの重要性がわからない。他にもっと大事なことがあるのでは

ないか?例えば、マンション管理組合運営の指導であるとか(千代田区役所の例など参考にさせていただきたい)。地域・コミュニティに限らず、市民が何を欲しているかという第一歩のリサーチが市には不足しているのではないか。何を必要とし、求めているかのリサーチから始めていただきたい。

- ・ 80 才代になると、老人ホーム・介護有料老人ホーム・更にはお墓のことが最重要課題。これらのことを相談できる市役所の窓口が今一番大切かと考えています。市民と云っても年代によって関心事は違う。それにきめ細かく対応できるコミュニティセンターがあれば安心。住民税納税額(1 人当たり)で全国全市で NO.9 の武蔵野市。そして住みたい街 NO.1 の吉祥寺の根幹として安心して対応してくれる(できる)市役所 or コミュニティセンターを。

【その他】

- ・ ふれあい祭に参加したが、物を買うのに金券が必要だと知らず、また金券の発売時間もわからずコミュニティセンターに行ったものの何も買えなかった。子供を連れて行ったので、何も買えずさみしい思いをさせてしまった。金券等の前売りの制度があるのであればポスター等にも記載して周知すべき。また金券を買っても来るのが遅くなってしまった場合、物が無いこともあるので注意してほしいと言われたが、金券を買わせておいて物が無いとはどうにかと思う。それであれば金券制度を無くし、現金でその場でやりとりすべきだと思う。
- ・ 3 町目だけ自治会があって(武蔵野市はないときいていたのに)、おかしいと思う。お金をとられることは別にいいけれど、祭りとかバスの旅とか別にみんなやりたくもないことにお金と時間を使って、会議とかで難しい話を難しくしてとても無駄だと思う。今の、お金も時間もあって悠々自適な高齢者たちは好きなんだろうけど、他の人たちはそう思ってない。せっかくゴミも個別収集してくれるし自治会はいらない。無理やりやってる行事なくして行ってほしい。何かあったときとかにふっと個々にお話ができる関係でいたらいいだけ。組織はいらない。みんな負担に思ってる。
- ・ 女性ですが、夫婦とも朝 7 時～夜 20 時まで会社でバリバリ仕事をしている(会社のデスクにいる仕事です)。自分のため、会社のため、日本のためにやっている。現役世代はコミュニティ活動をしている時間はない。ネットを利用するなど、そもそも時間のない、税金を払い日本を支えてる世代をよく考えるべきだと思う。声を聞くべきだと思う。シルバー・主婦の声を中心にしすぎている。現役のバリバリ働く人が活動に参加、もしくは意見だけでもできるようにしないと、と思う。できるような仕組みにしてもらいたい。
- ・ 今は仕事があり活動はできないが、仕事をやめたら携わりたいと思っている。
- ・ 仕事をしている者にとっては活動に参加しづらいです。
- ・ 何か興味の起こる活動があれば参加したい程度

- ・ 特になし。よそ者には入りにくい雰囲気があります。何年暮らしてもよそ者はよそ者でしかないので。地元在住歴の長い高齢の方々の顔をうかがいながら使うのはいや。
- ・ 若くて元気な頃は色々な活動に参加していたが、年令や病のため活動出来なくなり残念です。若い皆さんの活動については、関心をもって見守って行きたいと思います。
- ・ 吉東コミセン、本宿コミセンの各たよりはよく読んでいるが、コミセン利用する機会は殆どない。足腰弱るとコミセンも次第に遠くなる。むしろムーバス利用して吉駅付近まで出ることが多くなった気もする。
- ・ 参加したいと思う企画があれば参加したい。
- ・ 人と接する事が不得意なので特に活動してみたい事は無いです。一人でゆっくり読書をして過したい！ 活動的な方がうらやましいです！
- ・ 現在はカルチャーセンターや学校の講座に参加しているので、コミュニティーセンターに参加する時間がありません。市で企画した講座で自分に興味あるものは時々参加させてもらっています。
- ・ まだ仕事をしているので中々参加出来ない。
- ・ 自分が癌になったりして、コミュニティーセンターでの活動を積極的にしたいと思わなくなった。相変らずボランティアの会には3~4ヶ所出席していますが、止めるわけにはゆかないので出席。それと大切な会であるので。
- ・ 現在はまだ土日の週末しか利用できないが、いずれ時間ができたなら地域の活動にも積極的に参加したいと思う。
- ・ ご苦労様です。最近めっきりご近所付き合いというものが無くなり、いざという時が心配です。ぜひ、いい地域にしてください。
- ・ 私は1人で好き勝手に生きています。武蔵野市は良い街であると思います。私が活動したいことはありませんが、利用される方が増えるといいですね。他人事な回答で、申し訳ございません。
- ・ 現在仕事に従事しており中々自分の時間が持てない為、地域コミュニティーについて関心が薄い状況にあります。必要性和重要性に認識しています!!
- ・ 具体的な内容(これまで深い関心がなかった)が浮かばないので活動はよくわかりません
- ・ Fee の高いコンサル会社に依頼した後にどれだけコミセンが変化するのかが見物です。"子供、主婦、老人を大切に"も大事だが高い住民税なのに恩恵の少ない我々にも何か提供して下さい・・・ Good Luck
- ・ 論外ですが、家の中から桜の木が望めなくなりました。緑が家によってゆくのは淋しい。
- ・ ①自分の人生自分持ち ②自分の体自分持ちの気概が必要。困ったら金を出してそ

の場かぎりの市政をしていたら市の財政も破綻します。一級建築士 91 歳の老兵

- ・ コミセン迄行くのがつらくなって来たので今は利用していません
- ・ 現在 70 歳 3 ヶ月。現住所に住みついて 6 年少し。援助できる事があればやりたいと思ってます。福島には講習を受けましたが行けなかった事が少し心残りです。御巢鷹山にもまだ行けてません。
- ・ 活動してみたいことはありませんが、でも皆さんに感謝しております。大変な企画・運営などありがとうございます!!がんばってネ。
- ・ 以前はご近所の方々とお料理をしたり子供を遊ばせたりと利用しましたが、この年になると利用する機会がなくなりました。
- ・ 現在 91 才になりますが元気に過して居ります。桜堤は昭和 35 年頃から住み続けて居り、大変住みよい場所です。コミセンは誘われれば出掛けて行きますが、あまり活発に動かないで年をとってしまいました。家で趣味の事をしているのが好きでしたので。
- ・ 特にない。口さがない連中が多そうなので関わりたくない。
- ・ コミュニティセンターの活動をコミュニティだより(?)などで見ています。
- ・ コミュニティセンターでの活動は広く知り合えると思うし、良い面もあるが、今はそういう人脈にあまり興味がない。(以前と比べて、又八王子市・三鷹市・羽村市 etc などと比べても、武蔵野市のボランティア活動に対する助成や活動支援など低下しているように思う。他にも呟いていた人がいた。他事ですが。)
- ・ コミュニティセンターをどうしたいか?松下市長はどう思ってるんですかね? 私は仕事が忙しいので特に活動についてはありません。
- ・ 一人暮らしなので思い付きません。又、そもそも費用面でどのように運営されているかも知らない。。。
- ・ 私は現在 83 歳、第 2 腰椎圧迫骨折により歩行も儘ならず、通院してリハビリを受けています。その為コミュニティ活動は残念ですが出来ません。
- ・ コミセンに 1 度も伺った事がないので、機会があれば行ってみたいと思います。
- ・ 東京都が決定して発表した、天災時の避難誘導標識は西久保にも武蔵野市内に一本も無い。全国的に統一した標識が必要で、市隣接の杉並区の JR 駅前には当標識が設置されているのに、市の防災課の誰れも都が指定された標識を知っていない。市の防災行政は評価した場合 0 ではないか。